

整理番号	—		経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和5年10月6日	から	活動の概要	企画財務部会 海外視察研修	
	令和5年10月12日	まで			
場所	デンマーク（コペンハーゲン） ・Bene Gaarden ・コペンハーゲン中央図書館 ・Copen Hill ・Univateインキュベーションオフィス ・コペンハーゲン大学 ・Queue-it ・DDC ・大使館		<h1>全体経費</h1>		(参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 篠師富士夫 瀧田孝吉
			金額	金額	
航空券	①	2,015,820	通信機器代	⑥	19,200
宿泊料 (デンマーク) 4泊4朝食	②	540,000	アポイント・ワークショップ・アテンド・レクチャー⑦~⑩		893,796
食事代 12,000+75,000	③⑫	87,000	鉄道 (国内)	⑪	132,720
自家用車 @37 × km =			名刺代	⑬	13,200
リース車 @18 × km =			タクシー・地下鉄	⑭	76,302
交通費・ガイド	④	316,000	振込手数料		770
宿泊料 (国内) 1泊1朝食	⑤	78,600	計		4,173,408
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修（デンマーク）経費 4,173,408円（6名分） 企画財務部会費 1,979,712円 個人政務活動費 2,193,696円 ※部会費の予算（1,980,000円）を超えた額を個人政務活動費で充当する。 （詳細別紙「部会と個人」）					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
企画財務部会

整理番号	818	使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和5年10月6日 から 令和5年10月12日 まで	活動の概要	企画財務部会 海外視察研修
場所	デンマーク (コペンハーゲン) ・ Bene Gaarden ・ コペンハーゲン中央図書館 ・ Copen Hill ・ Uivateインキュベーションオフィス ・ コペンハーゲン大学 ・ Queue-it ・ DDC ・ 大使館	(内容) 別紙	(参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉
		金額	金額
航空券	①	896, 220	通信機器代 ⑥ 19, 200
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食	②	270, 000	アポイント・アテンドー ⑦⑧ 402, 420
食事代 12, 000+75, 000	③⑩	87, 000	鉄道 (国内) ⑪
自家用車 @37 × km =			名刺代 ⑬ 13, 200
リース車 @18 × km =			タクシー・地下鉄 ⑭ 76, 302
交通費・ガイド (10/10)	④	136, 000	振込手数料 770
宿泊料 (国内) 1泊1朝食	⑤	78, 600	計 1, 979, 712
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

領 収 証

No. 30905

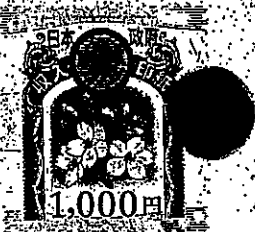
自民党富山県議会議員会
企画財務部会 殿

2023年11月6日

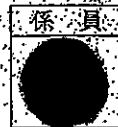
¥ 3, 274, 420-

(税込)

但し企画財務部会デンマーク視察費として
上記の金額正に領収致しました



本社 富山県奥田郡野島町 (ポルファートとやま)
TEL: 076-274-2000 FAX: (076) 431-2735
□ファボーレ店 □南砺支店 □アルプザ小杉店
□名古屋支店 □金沢営業所



- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
決裁 令和 年 月 日
処理 令和5年11月6日

報告者*

企画財務部会

川上 浩

整理番号		819		使途項目*		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和5年10月6日		から	活動の概要 (内容) 別紙		企画財務部会 海外視察研修 (参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉			
	令和5年10月12日		まで						
場所	デンマーク (コペンハーゲン) ・ Bene Gaarden ・ コペンハーゲン中央図書館 ・ Copen Hill ・ Univateインキュベーションオフィス ・ コペンハーゲン大学 ・ Queue-it ・ DDC ・ 大使館								
				金額					金額
航空機 ①				186,600	通信機器 ⑥				
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食 ②				45,000	ワークショップ・レクチャー ⑧⑩				81,896
食事代					鉄道 ⑪				23,100
自家用車 @37 × km =					名刺代 ⑬				
リース車 @18 × km =					タクシー・地下鉄 ⑭				
交通費・ガイド (10/7 10/11) ④				30,000					
宿泊料 (国内) 1泊1朝食 ⑤					計				366,596
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)									
<p>海外視察研修 (デンマーク) 経費 4,173,408円 (6名分)</p> <p>※部会費の予算 (1,980,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)</p>									

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

報告者*

企画財務部会

立村好司

整理番号	820		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和5年10月6日	から	活動の概要 (内容) 別紙	企画財務部会 海外視察研修 (参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉	
	令和5年10月12日	まで			
場所	デンマーク (コペンハーゲン) ・ Bene Gaarden ・ コペンハーゲン中央図書館 ・ Copen Hill ・ Univateインキュベーションオフィス ・ コペンハーゲン大学 ・ Queue-it ・ DDC ・ 大使館				
			金額		金額
航空機	①	186,600	通信機器	⑥	
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食	②	45,000	ワークショップ・レクチャー	⑧⑩	81,896
食事代			鉄道	⑪	25,910
自家用車 @37 × km =			名刺代	⑬	
リース車 @18 × km =			タクシー・地下鉄	⑭	
交通費・ガイド (10/7 10/11)	④	30,000			
宿泊料 (国内) 1泊1朝食	⑤		計		369,406
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
<p>海外視察研修 (デンマーク) 経費 4,173,408円 (6名分)</p> <p>※部会費の予算 (1,980,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

報告者* 企画財務部会
渡辺守人

整理番号	821		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和5年10月6日	から	活動の概要 (内容) 別紙	企画財務部会 海外視察研修 (参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉	
	令和5年10月12日	まで			
場所	デンマーク (コペンハーゲン) ・ Bene Gaarden ・ コペンハーゲン中央図書館 ・ Copen Hill ・ Univateインキュベーションオフィス ・ コペンハーゲン大学 ・ Queue-it ・ DDC ・ 大使館				
			金額		金額
航空機	①		186,600	通信機器	⑥
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食	②		45,000	ワークショップ・レクチャー	⑧⑩ 81,896
食事代				鉄道	⑪ 28,520
自家用車 @37 ×		km =		名刺代	⑬
リース車 @18 ×		km =		タクシー・地下鉄	⑭
交通費・ガイド (10/7 10/11)	④		30,000		
宿泊料 (国内) 1泊1朝食	⑤			計	372,016
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
<p>海外視察研修 (デンマーク) 経費 4,173,408円 (6名分)</p> <p>※部会費の予算 (1,980,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

報告者* 企画財務部会
山本 徹

整理番号	822		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和5年10月6日	から	活動の概要 (内容)	企画財務部会 海外視察研修	
	令和5年10月12日	まで			
場所	デンマーク (コペンハーゲン)		別紙	(参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bene Gaarden ・ コペンハーゲン中央図書館 ・ Copen Hill ・ Univateインキュベーションオフィス ・ コペンハーゲン大学 ・ Queue-it ・ DDC ・ 大使館 				
			金額	金額*	
航空機	①	186,600	通信機器	⑥	
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食	②	45,000	ワークショップ・レクチャー	⑧⑩	81,896
食事代			鉄道	⑪	
自家用車 @37 × km =			名刺代	⑬	
リース車 @18 × km =			タクシー・地下鉄	⑭	
交通費・ガイド (10/7 10/11)	④	30,000			
宿泊料 (国内) 1泊1朝食	⑤		計		343,496
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
<p style="text-align: center;">海外視察研修 (デンマーク) 経費 4,173,408円 (6名分)</p> <p>※部会費の予算 (1,980,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

報告者*

企画財務部会

齋藤富士夫

整理番号	823		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和5年10月6日	から	活動の概要 (内容) 別紙	企画財務部会 海外視察研修 (参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉	
	令和5年10月12日	まで			
場所	デンマーク (コペンハーゲン) ・Bene Gaarden ・コペンハーゲン中央図書館 ・Copen Hill ・Univateインキュベーションオフィス ・コペンハーゲン大学 ・Queue-it ・DDC ・大使館				
			金額	金額	
航空機	①	186,600	通信機器	⑥	
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食	②	45,000	ワークショップ・レクチャー	⑧⑩	81,896
食事代			鉄道	⑪	27,860
自家用車 @37 × km =			名刺代	⑬	
リース車 @18 × km =			タクシー・地下鉄	⑭	
交通費・ガイド (10/7 10/11)	④	30,000			
宿泊料 (国内) 1泊1朝食	⑤		計		371,356
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修 (デンマーク) 経費 4,173,408円 (6名分)					
※部会費の予算 (1,980,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

報告者* 企画財務部会
瀧田孝吉

整理番号		824		使途項目		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和5年10月6日	から	活動の概要 企画財務部会 海外視察研修 (内容) 別紙 (参加者) 川上 浩 立村好司 渡辺守人 山本 徹 齋藤富士夫 瀧田孝吉						
	令和5年10月12日	まで							
場所	デンマーク (コペンハーゲン) ・ Bene Gaarden ・ コペンハーゲン中央図書館 ・ Copen Hill ・ Univateインキュベーションオフィス ・ コペンハーゲン大学 ・ Queue-it ・ DDC ・ 大使館								
				金額					金額
航空機 ①				186,600	通信機器 ⑥				
宿泊料 (デンマーク) 2泊2朝食 ②				45,000	ワークショップ・レクチャー ⑧⑩				81,896
食事代					鉄道 ⑪				27,330
自家用車 @37 × km =					名刺代 ⑬				
リース車 @18 × km =					タクシー・地下鉄 ⑭				
交通費・ガイド (10/7 10/11) ④				30,000					
宿泊料 (国内) 1泊1朝食 ⑤					計				370,826
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> <p>海外視察研修 (デンマーク) 経費 4,173,408円 (6名分)</p> <p>※部会費の予算 (1,980,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)</p>									

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和5年11月6日

企画財務部会 部会と個人

01 調査研究費		全体	部会	個人
①	航空券	2,015,820	896,220	1,119,600
②	宿泊料 (デンマーク) (4泊4朝食)	540,000	270,000 (2泊2朝食)	270,000 (2泊2朝食)
③	食事代	12,000	12,000	0
④	交通費・ガイド代 (10/7 10/10 10/11)	316,000	136,000 (10/10)	180,000 (10/7 10/11)
⑤	宿泊料 (国内)	78,600	78,600	0
⑥	通信機器代	19,200	19,200	0
⑦	アポイント	893,796	402,420 ⑦⑨	491,376 ⑧⑩
⑧	ワークショップ			
⑨	アテンド			
⑩	レクチャー			
⑪	鉄道 (国内)	132,720		132,720
⑫	食事代	75,000	75,000	
⑬	名刺代	13,200	13,200	
⑭	タクシー・地下鉄 (デンマーク)	76,302	76,302	
	振込手数料	770	770	
		4,173,408	1,979,712	2,193,696

<個人別内訳>

01 調査研究費		川上	立村	渡辺	山本	瘡師	瀧田
①	航空券	186,600	186,600	186,600	186,600	186,600	186,600
②	宿泊料 (デンマーク) (2泊2朝食)	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
④	交通費・ガイド代 (10/7・10/11)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
⑧	ワークショップ	81,896	81,896	81,896	81,896	81,896	81,896
⑩	レクチャー						
⑪	鉄道 (国内)	23,100	25,910	28,520		27,860	27,330
個人ごとの合計		366,596	369,406	372,016	343,496	371,356	370,826
合計 (個人政務活動費)		2,193,696					

企画財務部会 海外視察研修

月日 令和5年10月6日(金)～12日(木)

視察先 デンマーク(コペンハーゲン)

参加者 川上浩 立村好司 渡辺守人 瀧師富士夫 山本徹 瀧田孝吉

旅行会社請求分

項目	内容	単価	数	金額
航空券	国際線	262,000	6	1,572,000
	座席指定	45,480	1	45,480
	カ手数料	1,100	6	6,600
	空港税等	7,970	6	47,820
	燃油SC	66,000	6	396,000
※1ユーロ 153,65円				
宿泊費	ホテルアストリアアスタウンティングネチャークコレクション 4泊4朝食	27,000	6	648,000
食事代	夕食	9,500	6	57,000
交通費	10/7	88,000	1	88,000
	10/7	60,000	1	60,000
	10/10	140,000	1	140,000
	10/11	88,000	1	88,000
国内宿泊	チサンホテル蒲田	14,520	6	87,120
通信機器	Wi-Fiルーター	32,400	1	32,400
	補償プラン	6000	1	6000
※ 宿泊費(デンマーク)：県の旅費規程により、21,500円を上限とする。				
※ 食事代：朝食1,000円 昼食1,500円 夕食：2,000円				

※1ユーロ 153,65円

項目	内容	単価	数	金額
宿泊費	ホテルアストリアアスタウンティングネチャークコレクション 4泊4朝食	27,000	6	648,000
食事代	夕食	9,500	6	57,000
交通費	10/7	88,000	1	88,000
	10/7	60,000	1	60,000
	10/10	140,000	1	140,000
	10/11	88,000	1	88,000
国内宿泊	チサンホテル蒲田	14,520	6	87,120
通信機器	Wi-Fiルーター	32,400	1	32,400
	補償プラン	6000	1	6000
※ 宿泊費(デンマーク)：県の旅費規程により、21,500円を上限とする。				
※ 食事代：朝食1,000円 昼食1,500円 夕食：2,000円				

政務活動費	個人負担
1,572,000	
	45,480
	6,600
47,820	
396,000	
2,015,820	52,080

①	540,000	108,000
②	1人90,000(4泊4朝食)	
③	12,000	45,000

④	88,000	
		60,000
	140,000	
	88,000	
⑤	316,000	60,000

⑥	78,600	8,520
	1人13,100(1泊1朝食)	

	16,200	16,200
	3,000	3,000
	19,200	19,200

合計	2,981,620	292,800
----	-----------	---------

合計	①+②+③+④+⑤+⑥	3,274,420
----	-------------	-----------

930-8501
富山県富山市新総曲輪
1-7

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 企画財務部会 御中

TEL: 076-444-3413
FAX: 076-444-3471

No. 00514136-01
DATE: 2023年11月05日
PAGE: 1

観光庁長官登録旅行業 第818号
株式会社 ニュージャパントラベル
登録番号: T5230001002307
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ポルファートとやま

TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

			金額
<input type="checkbox"/> 出発日	2023年10月06日 (金)	(A00002)	
<input type="checkbox"/> ツアー名	自民党富山県議会議員会政調会企画財務部会 デンマーク視察		
<input type="checkbox"/> 明細	男性 6名		
海外航空券代	羽田〜コペンハーゲン スカンジナビア航空エコノミー席	(¥262,000 X 6)	¥1,572,000
有料座席指定料	窓・通路4名、中央2名	(¥45,480 X 1)	¥45,480
発券手数料	指定座席	(¥1,100 X 6)	¥6,600
現地空港諸税		(¥7,970 X 6)	¥47,820
燃油サーチャージ		(¥66,000 X 6)	¥396,000
海外宿泊代	ホテルストリアヘストウエスタン SGL利用×4泊	(¥108,000 X 6)	¥648,000
現地立替金	夕食 10/7	(¥9,500 X 6)	¥57,000
その他手配	専用車&日本語アシスタント	(¥376,000 X 1)	¥376,000
宿泊代	フィンホテル蒲田 1泊朝食付き	(¥14,520 X 6)	¥87,120
レンタル代金	Wi-Fiルーター	(¥19,200 X 2)	¥38,400
【税込金額合計】 【内消費税額合計】			
			¥3,274,420
	¥132,120	¥12,010	10%計

お支払いは弊社下記銀行口座へ
11月9日 までにお振込願います。

振込先: 北陸銀行 奥田支店 当座 4038850
口座名: 株式会社ニュージャパントラベル

ご請求額 ¥3,274,420

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥3,274,420

担当者 XXXXXXXXXX

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

令和5年11月5日

自民党富山県議会議員会 政務調査会 様

富山県富山市奥田新町8番1号
株式会社ニュージャパントラベル
TEL 076-441-2000 FAX 076-431-2735

【費用明細書】

自民党富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会海外視察に係った費用明細を下記にご案内いたします。

■期 間 令和5年10月6日(金)～10月12日(木) 7日間
■方 面 コペンハーゲン
■人 数 6名様 (川上議員、立村議員、渡辺議員、山本議員、齋藤議員、瀧田議員)

ご請求金額 金3,274,420円

【航空券】

・国際線	羽田～コペンハーゲン往復(エコミー席)	262,000円 × 6名	1,572,000円
・座席指定	窓・通路@56ユーロ×4名、中央@36ユーロ×2名	296ユーロ × 1式 (1ユーロ153,65円)	45,480円
・//手数料		1,100円 × 6名	6,600円
・空港税等		7,970円 × 6名	47,820円
・燃油SC		66,000円 × 6名	396,000円

【宿泊】

・コペンハーゲン ホテルアストリア ベストウエスタン シグネチャーコレクション 27,000円 × 6名 × 4泊 648,000円

【食事】

・朝食 宿泊代に含む
・夕食 10/7 1回 9,500円 × 6名 57,000円

【交通費・ガイド】

・10/7 空港→ホテル送迎 88,000円 × 1台 88,000円
(専用車・日本語アシスタント)

・10/7 夕食送迎日本語アシスタント 60,000円 × 1名 60,000円
(徒歩移動)

・10/10 ホテル→大使館→指定昼食場所 140,000円 × 1台 140,000円
(専用車・日本語アシスタント 3時間)

・10/11 ホテル→空港送迎 88,000円 × 1台 88,000円
(専用車・日本語アシスタント)

【国内宿泊】

・東京 チサンホテル蒲田(1泊朝食付き) 14,520円 × 6名 87,120円

【通信機器】

・Wi-Fiフィルター 4G/LTE 無制限 2,700円 × 6日 × 2台 32,400円
・補償プラン あんしんパック 500円 × 6日 × 2台 6,000円

令和5年10月11日

自民党富山県議会議員会政調会 企画財務部会 御中

富山県富山市奥田新町8番1号
株式会社ニュージャパントラベル

【見積書】

自民党富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会海外視察に係る概算額を下記にご案内いたします

■期 間 令和5年10月6日(金)～10月12日(木) 7日間
■方 面 コペンハーゲン
■人 数 6名様

見積り金額 金3,274,420円

【航空券】

・国際線	羽田～コペンハーゲン往復(エコノミー席)	262,000円 × 6名		1,572,000円
・座席指定	窓・通路@561-口×4名、中央@361-口×2名	2961-口 × 1式	(12-口153,65円)	45,480円
・//手数料		1,100円 × 6名		6,600円
・空港税等		7,970円 × 6名		47,820円
・燃油SC		66,000円 × 6名		396,000円

【宿泊】

・コペンハーゲン ホテルアストリア ベストウエスタン シグネチャーコレクション 27,000円 × 6名 × 4泊 648,000円

【食事】

・朝食 宿泊代に含む
・夕食 10/7 1回 9,500円 × 6名 57,000円

【交通費・ガイド】

・10/7 空港→ホテル送迎 88,000円 × 1台 88,000円
(専用車・日本語アシスタント)

・10/7 夕食送迎日本語アシスタント 60,000円 × 1名 60,000円
(徒歩移動)

・10/10 ホテル→大使館→指定昼食場所 140,000円 × 1台 140,000円
(専用車・日本語アシスタント 3時間)

・10/11 ホテル→空港送迎 88,000円 × 1台 88,000円
(専用車・日本語アシスタント)

【国内宿泊】

・東京 テサンホテル蒲田 14,520円 × 6名 87,120円

【通信機器】

・Wi-Fiフィルター 4G/LTE 無制限 2,700円 × 6日 × 2台 32,400円
・補償プラン あんしんパック 500円 × 6日 × 2台 6,000円

【北欧研究所請求分】

摘要	単価	単位	金額
1. アポイント取得			
Danish Design Center	1,500 DKK	1 時	1,500 DKK
Queue-it	1,500 DKK	1 時	1,500 DKK
小計			3,000 DKK
2. ワークショップ			
参加者アレンジ	1,200 DKK	6 時	7,200 DKK
デザイン・準備	2,000 DKK	2 時	4,000 DKK
小計			11,200 DKK
3. アテンド (9-16時、最大7時間)			
10/8・10/9・10/10 半日	8,000 DKK	2 日	16,000 DKK
小計			16,000 DKK
4. レクチャー			
北欧のデジタル化とスマートシティ	12,000 DKK	1 件	12,000 DKK
小計			12,000 DKK
5. レストランアレンジ			
昼食予約 (10/8~10/10)	500 DKK	3 件	1,500 DKK
夕食予約	500 DKK	3 件	1,500 DKK
小計			3,000 DKK
1~5 合計	1DKK = 21.18円換算 (9/24時点)		45,200 DKK
			957,336 円

政務活動費	個人負担
3,000	
11,200 ☆	
16,000	
12,000 ☆	
	3,000
42,200	3,000 DKK
893,796	63,540 円
770 円	← 振込手数料
894,566 円	← 政務活動費支出合計

⑦

⑧

⑨

⑩



japanordic
北欧研究所

Attention: 自由民主党 富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会 御中

部長 川上 様
TEL 076-444-3413 (直通)
FAX 076-444-3471

E-Mail [REDACTED]
Date: 15/10/2023.

Project Title: デンマーク視察
Invoice Number: 23-1009

INVOICE

〒166-0016
東京都杉並区成田西
1-1-7

合計金額					
	45200	DKK			
	957336	円	※ 1DKK=21.18円換算(2023/9/24時点)		

摘要	単価	単位	金額
1 アポイント取得			
Danish Design Center	1500	DKK 1 時	1500 DKK
Queue-it	1500	DKK 1 時	1500 DKK
小計			3000 DKK
2 ワークショップ			
参加者アレンジ	1200	DKK 6 人	7200 DKK
デザイン・準備	2000	DKK 2 時	4000 DKK
小計			11200 DKK
3 アテンド(9-16時、最大7時間)			
アテンド(8,9半日,10半日)	8000	DKK 2 日	16000 DKK
小計			16000 DKK
4 レクチャー			
北欧のデジタル化とスマートシティ	12000	DKK 1 件	12000 DKK
小計			12000 DKK
5 レストランアレンジ			
昼食予約	500	DKK 3 件	1500 DKK
夕食予約	500	DKK 3 件	1500 DKK
小計			3000 DKK
1-5合計			45200 DKK

振込先: ホクオウケンキュウシヨ
Pay Pay銀行 金融機関コード 0033
店番005 ビジネス営業部 (普)
口座番号6778952

株式会社北欧研究所
東京都杉並区成田西一丁目1番7号

*請求書受領から2週間以内の支払いをお願いします

【国内JR代】

	10/6 富山→東京	10/12 東京→富山
川上	11,550 /	11,550 /
立村	13,160 /	12,750 /
渡辺	14,260 /	14,260 /
山本	—	—
瘡師	14,030 /	13,830 /
瀧田	14,030 /	13,300 /
小計	67,030 /	65,690 /
合計	132,720 /	

※視察前後に公務あり

⑪

【食事代】

	10/6	10/8		10/9		10/10	
	夕食	昼食	夕食	昼食	夕食	昼食	夕食
川上	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000
立村	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000
渡辺	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000
山本	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000
瘡師	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000
瀧田	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000	1,500	2,000
	12,000 /	9,000 /	12,000 /	9,000 /	12,000 /	9,000 /	12,000 /
合計	75,000 /						

⑫

※ 10/7 夕食代は、旅行会社請求書に含まれる。

※ 朝食代は、旅行会請求書のホテル宿泊費欄に計上。

川上 浩(JR)

領収書

Receipt
領収年月日 2023.10.-6 登録番号: T1120001059675
金額 ¥11,550 (消費税等込み) 税10%

【クレジット扱い】
購入商品 JR乗車券類
(20107.3枚)
西日本旅客鉄道株式会社
黒部宇奈月MK1発行 40109-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収証

川上 浩様

2023年10月12日

金11,550円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

東京485 No.000034

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

立村好司(JR)

領収書

Receipt
領収年月日 2023.10.-5 登録番号: T1120001059675
金額 ¥13,160 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類
(40158.1枚)
西日本旅客鉄道株式会社
連星駅F1発行 50159-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収証

立村好司 様

2023年10月12日

金12,750円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

東京478 No.000060

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

渡辺守人(JR)

領収書 渡辺守人様
Receipt
領収年月日 2023.10.-1 登録番号: T1120001059675
金額 ¥28,520 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類
(40172.4枚)
西日本旅客鉄道株式会社
新高岡駅F12発行 50173-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

瘡師富士夫(JR)

領収書 瘡師富士夫様
Receipt
領収年月日 2023.10.-4 登録番号: T1120001059675
金額 ¥14,030 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類
(10113.1枚)
西日本旅客鉄道株式会社
新渡駅F1発行 20114-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収証

2023年10月12日

瘡師富士夫様

金13,830円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

東京475 No.000026

瀧田孝吉(JR)

領収書

瀧田孝吉様

Receipt

領収年月日 2023.10.-6 / 登録番号: T1120001059675
金額 ¥14,030 (消費税等込み) 税10%

(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類
(00175 1枚)
西日本旅客鉄道株式会社
新高岡駅MK1発行 10176-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

新高岡 → 東京

お客様控

クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R574

会社名・会員番号 [REDACTED] 有XX-XX (JR西日本) ✓
取引内容: お買上 支払区分: 一括 IC ¥14,030
承認番号: 756033ATC005C COO
商品名: 指定券 1枚(冊)
10月6日 はくたか566号 新高岡→東京 乗車券込み
乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。
払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。
この控は大切に保存してください。
新高岡駅MK1発行

瀧田孝吉(JR)

東京 → 新高岡

お客様控

クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R001

会社名・会員番号 [REDACTED] 有XX-XX (JR東日本) ✓
取引内容: お買上 支払区分: 一括 IC ¥13,300
承認番号: 795609ATC02A8 COO
商品名: (一括券) 自由席券 1枚(冊)
10月12日 東京→新高岡 乗車券込み
乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。
払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。
この控は大切に保存してください。
東京駅北乗F8発行

【名刺代】

領 収 書

自民党富山県議会議員会
会費補助金 様

令和5年10月16日

②	33,000-	現金		33,000円
		小切手		
		手形		
		相殺		

但し 名刺印刷代金として
上記金額正に領収致しました。

第一興産印刷株式会社

代表取締役 保 保

収印
入紙

〒939-8271 富山県富山市丸西町二丁目6番11
421-0196番
423-9811番
口座振替 北陸銀行本店 当座預金 1585200
富山信用金庫本店 当座預金 002310
富山第一銀行小泉支店 当座預金 008715

係印

登録番号: T8230001001454

	数量	単価	金額
名刺 (両面カラー) 1人100枚	6	5,500	33,000

政務活動費	議員負担
13,200	19,800
	1人3,300円

↑
⑬

お客様コードNo. XXXXXXXXXX

請 求 書

令和 5 年 10 月 10 日

自民党富山県議会議員会政調会
企画財務部会 御中

第一共同印刷株式会社
代表取締役 高塚 保行

〒939-8271 富山県太田区西町2丁目6番11
電話 (076)421-0196 FAX (076)423-9811
登録番号 T8230001001454

合計金額 **¥ 33,000.-**

口座振替

北陸銀行本店 当座 1585200
富山信用金庫本店 当座 002310
富山第一銀行小泉支店 当座 008715

平素は格別の御引立てを賜り有難く厚く御礼申し上げます。
納入品の代金は下記の通りですので何卒御支払下さいます様
御願い申し上げます。

月	日	品 名 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
		名刺(両面カラー)	6	名	5,000.00	30,000
備考			10%対象	小 計	30,000	
			税率10%	消 費 税	3,000	
				合 計	33,000	

【現地での支払い分】

			DKK	円計算 ×21.18	円
10/7	①	タクシー			3,300
	②	タクシー			3,300
10/8	③	タクシー	191	4,045	
	④	タクシー	183	3,876	
	⑤	タクシー	430	9,107	
	⑥	タクシー	322	6,820	
10/9	⑦	タクシー	133	2,817	
	⑧	タクシー	122	2,584	
	⑨	地下鉄	480	10,166	
	⑩	地下鉄	1,300	27,534	
10/10	⑪	タクシー	130	2,753	
			3,291	69,702	6,600
合 計				76,302	

※ 1 DKK = 21.18円換算 (9/24時点)

政務活動費 (部会費)	内 容
3,300	ホテル→羽田空港
3,300	〃
4,045	空港→バーネゴンデン
3,876	〃
9,107	バーネゴンデン→コペンヒル
6,820	コペンヒル→中央図書館
2,817	ホテル→インキュベーションオフィス
2,584	〃
10,166	インキュベーションオフィス→Nyhavn
27,534	Rejsekort料金
2,753	DCC→インキュベーションオフィス
76,302	
76,302	

↑

⑭

○視察日程

現地支払 レシート番号

① ~ ⑪

自民党富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会

デンマーク視察【R05.10.06～R05.10.12】

人数:6名

日付	都市等	現地時間	日程
10/6(金)	東京都内		【都内泊】
10/7(土)	羽田空港 カスルプ空港 コペンハーゲン	11:45 18:20	羽田空港 出発 ① ② ※所要時間:13時間55分 カスルプ空港 到着 【コペンハーゲン市内泊】
10/8(日)	コペンハーゲン	終日	市内視察 (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ③ ④ ・Bane Gaarden (北欧研究所によるコーディネート、施設による説明) ⑤ ⑥ ・Gopen Hill (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・コペンハーゲン中央図書館 【コペンハーゲン市内泊】
10/9(月)	コペンハーゲン	終日	デンマーク、コペンハーゲンの事情レクチャー (安岡 美佳 氏(ロスキレ大学准教授、北欧研究所代表)) ⑦ ⑧ ・Univateインキュベーションオフィス 市内視察 (安岡氏によるアテント) ⑨ ・コペンハーゲン大学 (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・コペンハーゲン運河周辺の街並み (北欧研究所によるコーディネート、施設による説明) ⑩ ・Queue-it 【コペンハーゲン市内泊】
10/10(火)	コペンハーゲン	終日	大使館訪問、レクチャー ・在デンマーク日本国大使館 市内視察 (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・DDC ⑪ 現地在住日本人とのワークショップ (北欧研究所によるコーディネート) ・Univateインキュベーションオフィス 【コペンハーゲン市内泊】
10/11(水)	カスルプ空港	12:05	カスルプ空港 出発 ※所要時間:12時間50分
10/12(木)	羽田空港	07:55	羽田空港 到着

10/7 ホテル→羽田空港

領収書

①

車両番号 0250号
2023年10月07日09:20
毎度ご乗車ありがとうございます。
(現金,チケット,クーポン,カード)

乗車料金 2900円
迎車料金 300円

運賃料金計 3200円
アプリ手配料金 100円

計 3300円
消費税率 10.0%

日本交通株式会社 登録番号:T4011501018187
お忘れ物は 日本交通 品川営業所
03(6712)0360
その他は カスタマーサポートデスクへ
TEL050(3173)9200 平日9:00~17:00

10/7 ホテル→羽田空港

領収書

②

車両番号 6348号
2023年10月07日09:21
毎度ご乗車ありがとうございます。
(現金,チケット,クーポン,カード)

乗車料金 2900円
迎車料金 300円

運賃料金計 3200円
アプリ手配料金 100円

計 3300円
消費税率 10.0%

飛鳥交通第五株式会社 登録番号:T3010801000401
お忘れ物は 飛鳥交通第五
03(5737)8001
その他は カスタマーサポートデスクへ
TEL050(3173)9200 平日9:00~17:00

10/8 空港→バーネゴデン

③

TAXA A/S

H→バーネゴデン

Dato 08-10-2023
Start 10:00 Slut 10:15
Vogn 9624759 Fører 622217
Bestnr 11770074 Tur
Navn Receptionen
Start Banegårdspladsen 4,
København V
Stop 105

Kørt Distance 3,4 km
Totaltid (tt:mm:ss) 00:14:36
Ventetid på adressen 00:47

Startpris 49,00
Kørselspris 142,00

Taxameterpris 191,00

Total (DKK) 191,00

Kortgebyr kr. 4,91
Betalt på kort kr. 195,91

Taxa 4x35
Rosenlunds Alle 8
Vanløse
Phone: +45 35353535
Bus.Reg.No: 21313815

2023-10-08 10:16

PURCHASE DKK 195.91
PIN USED

PSN:01
CHIP

TERM: 02117828-006172
NETS NO
830811

IB1
ATC:00005 AED:200601
AID: A0000000031010
ARC:00 STATUS:000
AUTH CODE: 622846
REF:006172

Result: AUTHORIZED
KEEP RECEIPT
CARDHOLDER'S RECEIPT

Gebyrer kan forekomme ved
betaling med kreditkort

DOWNLOAD TAXA 4x35 APP'EN
TIL IPHONE ELLER ANDROID

WWW.TAXA.DK

10/8 空港→バーネゴデン

④

TAXA A/S

H→バーネゴデン

Dato 08-10-2023
Start 10:01 Slut 10:15
Vogn 7439121 Fører 619313
Bestnr 11770073 Tur
Navn Receptionen
Start Banegårdspladsen 4,
København V
Stop 105

Kørt Distance 3,5 km
Totaltid (tt:mm:ss) 00:14:18
Ventetid på adressen 01:23

Startpris 49,00
Kørselspris 134,00

Taxameterpris 183,00

Total (DKK) 183,00

Kontant kr. 183,00

Gebyrer kan forekomme ved
betaling med kreditkort

DOWNLOAD TAXA 4x35 APP'EN
TIL IPHONE ELLER ANDROID

WWW.TAXA.DK

10/8 バーネゴデン→コペンヒル

⑤

TAXA A/S

バーネゴデン
コペンヒル

Dato 08-10-2023
Start 12:07 Slut 12:35
Vogn 7194951 Fører 537194
Bestnr 11769893 Tur
Navn Airi Ono
Start OTTO BUSSES VEJ 45,
KØBENHAVN SV
Stop VINDMØLLEVEJ 6, KØBENHAVN
S

Kørt Distance 8,7 km
Totaltid (tt:mm:ss) 00:27:35
Ventetid på adressen 00:37

Startpris 79,00
Kørselspris 351,00

Taxameterpris 430,00

Total (DKK) 430,00

Kortgebyr kr. 11,05
Betalt på kort kr. 441,05

Taxa 4x35
Rosenlunds Alle 8
Vanløse
Phone: +45 35353535
Bus.Reg.No: 21313815

2023-10-08 12:35

PURCHASE DKK 441.05
PIN USED

PSN:01
CHIP

TERM: 02119917-012186
NETS NO
830811

IB1
ATC:00007 AED:200601
AID: A0000000031010
ARC:00 STATUS:000
AUTH CODE: 407538
REF:012186

Result: AUTHORIZED
KEEP RECEIPT
CARDHOLDER'S RECEIPT

Gebyrer kan forekomme ved
betaling med kreditkort

DOWNLOAD TAXA 4x35 APP'EN
TIL IPHONE ELLER ANDROID

WWW.TAXA.DK

10/8 コペンヒル→中央図書館

⑤ TAXA A/S

Dato 08-10-2023
Start 13:36 Slut 13:53
Vogn 6096521 Fører 579158
Bestnr 11771247 Tur
Navn Airi Ono
Start VINDMØLLEVEJ 45,
KØBENHAVN S
Stop KRISTALGADE 15, KØBENHAVN
K

Kørt Distance 8,5 km
Totaltid (tt:mm:ss) 00:17:28
Ventetid på adressen 00:45

Startpris 79,00
Kørselspris 243,00

Taxameterpris 322,00

Total (DKK) 322,00

Kortgebyr kr. 8,28
Betalte på kort kr. 330,28

Taxa 4x35
Rosenlunds Alle 8
Vanløse
Phone: +45 35353535
Bus.Reg.No: 21313815

2023-10-08 13:55

PURCHASE DKK 330.28
PIN USED
PSN:01
CHIP

TERM: 02117713-000330
NETS NO 830811
IB1
ATC:00008 AED:200601
AID: A0000000031010
ARC:00 STATUS:000
AUTH CODE: 678350
REF:000330
Result: AUTHORIZED

KEEP RECEIPT
CARDHOLDER'S RECEIPT

Gebyrer kan forekomme ved
betaling med kreditkort

DOWNLOAD TAXA 4x35 APP'EN
TIL IPHONE ELLER ANDROID

WWW.TAXA.DK

10/9

ホテル→インキュベーションオフィス

ホテル→インキュベーション
オフィス ⑦



Viggo Denmark ApS
Tøndergræsgade 4
2450 København SV, Denmark
CUR: 48547746
support@viggo.com

Date 09.10.2023
Time 08.40.03
Reference B0A7d45d1041714b0e8758d2595f3efca5
Driver 672115
Trip started 09.10.2023 08.39
Trip ended 09.10.2023 08.39
Pickup address
Børnstorffsgade 5, 1577, Copenhagen, Denmark
Dropoff address
Njalsgade 76, 2300, Copenhagen, Denmark
Trip distance 2.47 km
Trip duration 00:00
Starting amount 42,00 kr.
Distance amount 23,00 kr.
Duration amount 68,00 kr.
Base amount 133,00 kr.

TOTAL 133,00 kr.

Download the app at
get.viggo.com

10/9

ホテル→インキュベーションオフィス

ホテル→インキュベーション
TAXA 4x35 ⑧

Dato 09-10-2023
Start 08:31 Slut 08:39
Vogn 0951 Fører 550916
Bestnr 11776319 Tur
Start 103
Stop 617

Kørt Distance 2,4 km
Totaltid (tt:mm:ss) 00:08:40

Startpris 39,00
Kørselspris 83,00

Taxameterpris 122,00

Total (DKK) 122,00

Kortgebyr 3,14

Betalte på kort 125,14

Taxa 4x35
Rosenlunds Alle 8
Vanløse
Phone: +45 35353535
Bus.Reg.No: 21313815

2023-10-09 08:42

PURCHASE DKK 125.14
PIN USED
PSN:00
CHIP

TERM: 01998544-006857
NETS NO 830811
IB1
ATC:00674 AED:
AID: A0000000031010
ARC:00 STATUS:000
AUTH CODE: 754012
REF:006857
Result: AUTHORIZED

KEEP RECEIPT
CARDHOLDER'S RECEIPT

Gebyrer kan forekomme ved
betaling med kreditkort

DOWNLOAD TAXA 4x35 APP'EN
TIL IPHONE ELLER ANDROID

WWW.TAXA.DK

10/9

インキュベーションオフィス→Nyhavn

11B Islands Brygge
Island Brygge St.
Njalsgade 70
2300 København S
Tlf. +45 70151615
CVR.NR. 30823699

2023-10-09 11:08
KØB DKK 30,00
[Redacted] BN: 01

IBAN: 71302553-102583
IB1 NETS NR:0003352315
ATC:00015 AED:230601
AID: A0000000031010
PSAM: 5374978-0000651070
ARC:00 STATUS:0000
AUT KODE: 530864
REF:102582 AUTORISERET

Dette er en kreditkort-
kvittering - ikke en billet.
This is a credit card receipt -
not a ticket.

10/9

Rejsekort料金

NYHAVN 37 *10/9 鉄*
NYHAVN 37 *10/9 鉄*
1051 KØBENHAVN K
Tlf. 33308600
CVR-nr. 17720082
Term: 40030204-1000733
Eksped.: 3
2023-10-09 13:40

AID: A000000021010
ATC: 00017 AED: 200601
TVR: 000000000 TGI: F000
Sted: 0100000
Ref.: 450174 362970 IB1
Resp.: 00 DCC Resp.: 00
Periode: 001

KØB
Beløb DKK 1300,00
Gebyr DKK 34,19
Total DKK 1334,19

TRANS. VALUTA

Beløb JPY 28396
Gebyr JPY 747
Total JPY 29143

GODKENDT

EXCHANGE RATE BASED ON Mastercard AT 2023-10-08

EXCHANGE RATE: 1 DKK = 21,0431 JPY
MARK-UP FEE %: 3,75%
THIS CURRENCY CONVERSION SERVICE IS PROVIDED BY
Nets.

I ACCEPT:

NYHAVN 37 HAS OFFERED ME A CHOICE OF CURRENCIES FOR PAYMENT.

THE EXCHANGE RATE AND FINAL AMOUNT IN 'JPY'.

FORRETNINGENS NOTA

---Afriv her---

10/10

DCC → インキュベーションオフィス

(11)

TAXA A/S DDC
マクドナルド

Dato 10-10-2023
Start 14:07 Slut 14:12
Vogn 9937739 Fører 682329
Bestnr 11788322 Tur
Navn Airi Ono
Start BRYGHUSPLADSEN 4,
København K
Stop NJALSGADE 76, København S

Kørt Distance 1,9 km
Totaltid (tt:mm:ss) 00:05:12
Ventetid på adressen 00:01

Startpris 69,00
Kørselspris 61,00

Taxameterpris 130,00

Total (DKK) 130,00

Kortgebyr kr. 3,34
Betal på kort kr. 133,34

Taxa 4x35
Rosenlunds Alle 8,
Vanløse
Phone: +45 35353535
Bus.Reg.No: 21313815

2023-10-10 14:15

PURCHASE DKK 133.34
PIN USED
[REDACTED] PSN:01
CHIP
[REDACTED]

TERM: 01986458-000609
NETS NO
830811
IB1
ATC:00021 AED:200601
AID: A0000000031010
ARC:00 STATUS:000
AUTH CODE: 183529
REF:000609
Result: AUTHORIZED

KEEP RECEIPT
CARDHOLDER'S RECEIPT

Gebyrer kan forekomme ved
betaling med kreditkort

DOWNLOAD TAXA 4x35 APP'EN
TIL IPHONE ELLER ANDROID

WWW.TAXA.DK



○視察日程

自民党富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会

デンマーク視察【R05.10.06～R05.10.12】

人数:6名

日付	都市等	現地時間	日程
10/6(金)	東京都内		【都内泊】
10/7(土)	羽田空港 カストルフ空港 コペンハーゲン	11:45 18:20	羽田空港 出発 ※所要時間:13時間55分 カストルフ空港 到着 【コペンハーゲン市内泊】
10/8(日)	コペンハーゲン	終日	市内視察 (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・Bane Gaarden (北欧研究所によるコーディネート、施設による説明) ・Copen Hill (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・コペンハーゲン中央図書館 【コペンハーゲン市内泊】
10/9(月)	コペンハーゲン	終日	デンマーク、コペンハーゲンの事情レクチャー (安岡 美佳 氏(ロスキレ大学准教授、北欧研究所代表)) ・Univateインキュベーションオフィス 市内視察 (安岡氏によるアテント) ・コペンハーゲン大学 (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・コペンハーゲン運河周辺の街並み (北欧研究所によるコーディネート、施設による説明) ・Queue-it 【コペンハーゲン市内泊】
10/10(火)	コペンハーゲン	終日	大使館訪問、レクチャー ・在デンマーク日本国大使館 市内視察 (北欧研究所によるコーディネート、アテント) ・DDC 現地在住日本人とのワークショップ (北欧研究所によるコーディネート) ・Univateインキュベーションオフィス 【コペンハーゲン市内泊】
10/11(水)	カストルフ空港	12:05	カストルフ空港 出発 ※所要時間:12時間50分
10/12(木)	羽田空港	07:55	羽田空港 到着

県外・海外 政務活動報告書

会派名 自民党富山県議会議員会

議員名 企画財務部会

整理番号	818
活動名称	自民党富山県議会議員会政調会企画財務部会 海外政務活動
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「スマートシティ」への取組みの経過や現状、課題などについて考察を深める。 ・デジタル化先進国、カーボンニュートラル先進国としての現状、課題などについて考察を深める。
日程	令和5年10月7日(土)～ 令和5年10月12日(木)
場所	デンマーク・コペンハーゲン市
〔国名・都市名、 施設名、訪問先等〕	
相手方等 〔主催者、対応者、 参加者、同行者 等〕	別紙参照
行程・活動内容 別紙参照	

※日帰りの政務活動を含む。

(デンマーク・コペンハーゲン市)

期 間：令和5年10月7日～12日

参加者：渡辺守人、山本徹、瘡師富士夫
川上浩、立村好司、瀧田孝吉

<デンマーク・コペンハーゲン市を視察先とした主な理由、目的>

1 コペンハーゲン市におけるスマートシティ

「スマートシティ」に統一された定義はないが、デンマークのロスキレ大学准教授の安岡氏は、北欧におけるスマートシティを「ICTやIoT、AIなどの先端技術を用い、社会、生活、産業のインフラやサービスを効率的・効果的に構築・運用・活用し、人々の生活の質を高め、持続可能な経済発展を目指す都市」と定義する。デンマークは福祉サービスが充実し、「幸せな国」といわれている。その鍵となるスマートシティ化の経過や現状、課題などについて考察を深める。

2 デジタル化先進国

デンマークは国連の電子政府ランキングで一位になるなど、行政分野をはじめ、社会のあらゆる分野でデジタル化が浸透している。その現状や課題などについて学び、今後の議員活動に活かす。

3 カーボンニュートラル先進国

デンマークは風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入が進んでおり、2011年に、2050年までに化石燃料からの完全な脱却を目指す「エネルギー戦略2050」を公表した。その現状や課題などについて学び、今後の議員活動に活かす。

●10月7日（土）

移動日

11:45 羽田空港発 → 18:30（現地時間） コペンハーゲン国際空港着
20:00 ホテルチェックイン → 夕食

●10月8日（日）

1. バーネゴーデン 10:30～12:30（案内者：北欧研究所 ■■■■■、■■■■■）

デンマーク国鉄の修理場・車庫があった巨大エリアに、建物のリノベーションとサステイナブルな食に関心のある4名の起業家が集まり、環境に配慮した食について追求する場所、学べる場所として構築された。住居、レストラン、カフェなどからなるエリアは、5軒の木造建築が2020年8月にリノベーションを終えて、エリアオープンした。より環境に配慮した素材の利用、修復がなされている。

レタスやケールといった地元の野菜が栽培され、発酵食品づくりも行われている。ウッドチップを敷き詰めた中庭には、談笑する人々が集まっていた。

また、すぐ近くには学生専用の居住区として「コペンハーゲンビレッジ」が広がっている。学生184人が居住しているとのことで、交流の場となっていた。

エリア内にはシュタイナー教育（子どもが最大限に能力を活用できるよう、感情や意思に働きかける、個性の尊重を重視した教育法）を行う学校が完成予定とのことで

あり、たまたま居合わせた入学予定の親子と談笑した。既に住み始めている住民と、動き始めているビジネスとを軸に、今後、数年かけてさらにエリア開発が進められるとのことであった。昼食は、エリア内のカフェにて、現地で栽培された野菜を中心とした料理を味わった。



2 コペンヒル 13:00~14:30 (案内者：北欧研究所 [redacted]、[redacted])

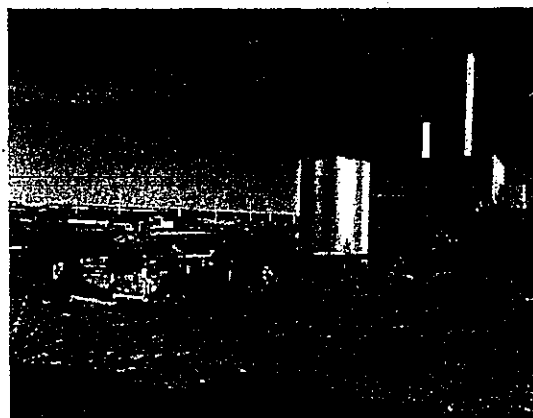
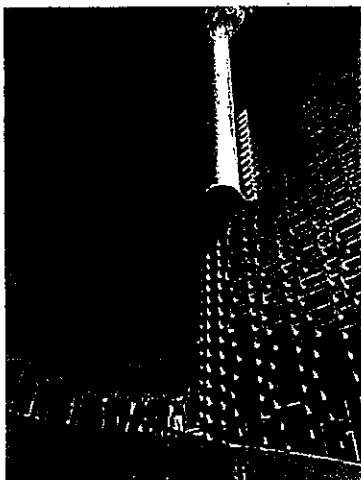
コペンヒルとは「廃棄物処理・発電施設」であり、コペンハーゲン市の約3万世帯に電気を、約7万2千世帯にセントラルヒーティング（熱源装置でつくった温水をパイプを通じて送り込む暖房システム）を供給している巨大な施設である。

デンマークは、2011年に、2050年までに化石燃料からの完全な脱却を目指す「エネルギー戦略2050」を公表した。2035年には電力と熱供給を再生可能エネルギーで賄い、2050年には電力、熱、産業、運輸などにおけるすべてのエネルギー供給を再生可能エネルギーで実現するという計画であり、デンマークはカーボンニュートラル先進国といえる。この巨大施設、そしてコペンヒルから見える何基もの洋上風力発電施設を見て、その実現性は高いと感じた。

そして、ユニークなのが、建物の傾斜を活かし、天井部分が芝のスキー場になっており、市民のレジャー施設になっていることだ。デンマークはほとんど雪が降らないことから、かなりの利用者がいるとのこと。スキー場の横には歩道があり、ジョギングやウォーキングも楽しめる。頂上にはカフェ&バーがあり、テラス席でドリンクを楽しむ人々が多数見受けられた。

廃棄物処理施設といえば、迷惑施設というイメージがあるが、コペンヒルは市民の憩いの場として上手く活用されていた。

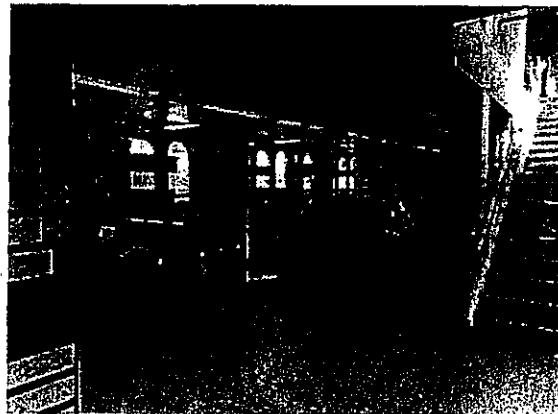
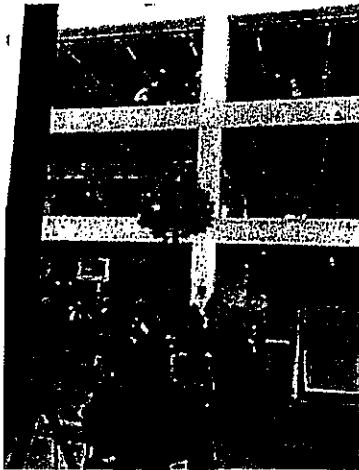
先進的、かつ、革新的な環境対策のモデル事例といえる。



3 コペンハーゲン中央図書館 15:00~16:00 (案内者: 北欧研究所 [REDACTED]、[REDACTED])

入館してまず感じたことは、吹抜け空間で天井がガラス張りで、明るく、モダンな雰囲気である。1Fには市民センターの受付(図書館の中に自治体の出先機関がある。)のほか、図書の返却場所がある。貸出、返却はすべてデジタル化されており、返却BOXに入れた本は、自動で所定の場所に戻るシステムになっている。よって、日本の図書館のような「受付」がない。デジタル化先進国、デンマークの一端が垣間見えた。

全館を見学して感じたことは、もちろん図書館機能は果たしているが、それだけでなく、ソーシャルスペースとしての役割を果たしていることだ。子ども向けのスペースが充実しており、親子での来館者が目立つ。余暇に憩う施設となっている。聞くところによれば、多くの文化イベントなどの開催場所ともなっているとのこと。人が集まり、新しい試みが実践されるリビングラボとして機能している。



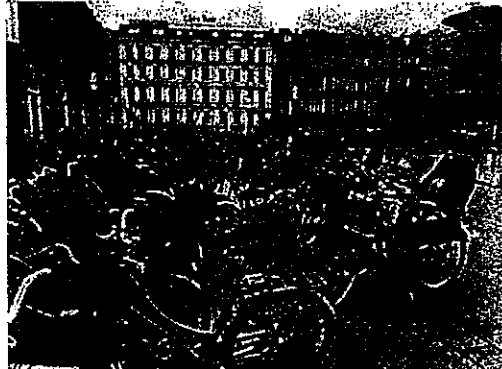
4 コペンハーゲン市内散策 16:00~18:00 (案内者: 北欧研究所 [REDACTED] [REDACTED])

○ローゼンボー城

1600年代初頭にクリスチャン4世が宮殿として建てたもので、城の装飾には絶対王制の華やかさと物々しさが色濃く反映されていた。

○自転車都市

デンマークは自転車大国である。道は、端から歩道、自転車道、車道となっており、歩道から落ちると危険を感じるほど、自転車運転者が多い。コペンハーゲン市民の約4割が通勤・通学に自転車を利用しているとのことであり、「自転車スーパーハイウェイ(高速道路)」も整備されている。こうした自転車政策は、環境・エネルギー問題、都市交通問題を解決する手段ともなっている。



●10月9日(月)

1 ロスキレ大学准教授・北欧研究所代表 安岡氏による講義 9:00~10:45

<演題：北欧のスマートシティと電子化（資料は別添）>

・北欧諸国（デンマーク、ノルウェー、スウェーデン）は、政治形態など、共通点が多い。国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN）による「World Happiness Report2022（世界幸福度報告書）」によれば、2位にデンマーク、7位にスウェーデン、8位にノルウェーが入り、日本は54位。

・「北欧のスマートシティ」とは、安岡氏は、ICTやIoT、AIなどの先端技術を用い、社会、生活、産業のインフラやサービスを効率的・効果的に構築・運用・活用し、人々の生活の質を高め、持続可能な経済発展を目指す都市、と定義する。「北欧のスマートシティ」の特徴は、『目に見えないが根付いている』ところ（例えば、安全な街、整備されたインフラ、澄んだ空気など）にあり、市民一人一人の幸せを追求することを前提に取り組まれている。

→一方、中国が進めるスマートシティのプロジェクトは、国家が国民の行動データを把握するものであり、街中でロボットが動き回り、街のあちこちにカメラが設置され、通りを行き交う人たちの顔認証によって、彼らの関心の高い商品の広告がデジタルサイネージに表示されるといった、ICTやIoTの活用が可視化された風景が広がっているのとは対照的といえる。

・その基盤はデジタル化にある。1968年にCPR制度（日本でいうマイナンバー制度）を導入。当初は、公的利用のみが想定されていたが、住民個人ごとに一意の番号を持つことから、次第に個人証明としても利用されるようになっていった。現在では、様々な個人情報CPR numberに紐づけられている。デジタル化の進展にはフェーズ（段階）があり、デンマークではデジタルインフラ・データは、もはや社会基盤となっている。

・なぜデジタル化が推進されたのか。それは、高福祉国家を守るためである。そのためには、高負担を維持する必要があったが、高齢化、国庫の逼迫、労働者不足などの課題が生じ、デジタル化による効率化を図らない限り、高福祉高負担社会を維持できなくなった。

・テクノロジー・データの嫌悪にどう対応したか。ヘルスケア関連システムを開発した会社のCEOによれば、「システムの構築に1年。その後の導入・浸透には20年かかった」という言葉にあるとおり、「慣れ」、時間をかけることである。「信頼」は徹底したオープンデータ化により達成。市民は行政を信頼しているから、しっかりとデータを提供する。そして、「共創」の原理が働いている。トップダウンでは駄目で、行政はもっぱらデジタルデバインド対策に傾注している。



2 コペンハーゲン大学視察 10:50~11:15 (案内者: 北欧研究所 [REDACTED])

コペンハーゲン大学は、1479年に創立された公立大学で、デンマークで最も歴史のある大学である。カトリックの神学校を中心とする大学として設立されたが、現在はヨーロッパを代表する研究大学の一つとして、世界に貢献している。また、コペンハーゲン大学は、学生が幅広い仕事につけるよう手助けしてくれ、多くのプログラムにおいてインターンシップで単位を取れるようにしたり、様々な企業と協力して行うリサーチプロジェクトを提供している。

3 ニューハウン散策 11:30~13:30 (案内者: 北欧研究所 [REDACTED])

デンマークを代表する観光地として知られ、飲食店やアンティークショップなどのカラフルな建物が軒を連ねている。コペンハーゲンで最も活気のある町といわれている。アンデルセンが愛したというこの港は、コペンハーゲンで一番初めに浮かんでくる景色といえる。

運河クルーズに乗船し、海からコペンハーゲン市内を俯瞰し、同地にて昼食。



4 キューイット (スタートアップ企業) 14:30~16:30 (案内者: 北欧研究所 [REDACTED])

【対応者: イエスパーCEO、日本市場担当チーム [REDACTED]さん、[REDACTED]さん】

・キューイットは2010年創業のスタートアップ企業。当時、ある企業の同僚だった3人が「クラウドコンピューティング技術を用いた、スケーラブルかつ世界的に需要があるサービスを提供したい」という思いのもと事業を立ち上げた。ビジネス案を模索する3人の目に留まったのが、当時頻りに報道されていたECサイトや公的サービスなどで起きるサイトの不具合。そこで、世界初の「仮想待合室」を作り、オンライン上での先着順の待ち行列を実現した。

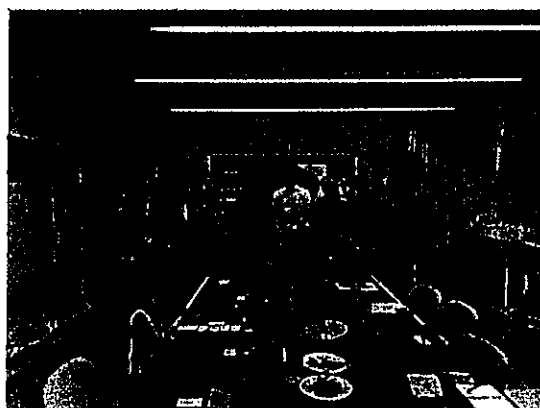
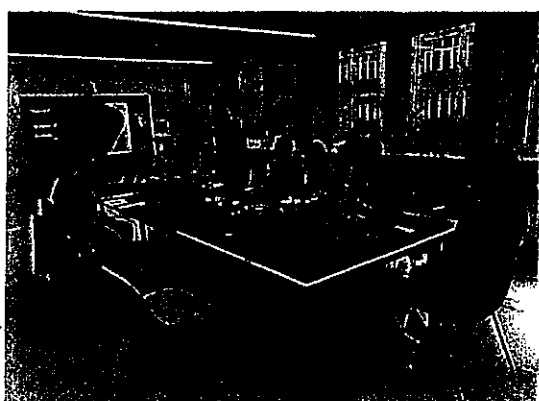
・「仮想待合室」とは、アクセス数が処理能力を超えた場合、ビジターはカスタマイズされた待合室にリダイレクトされ、そこから目的のサイトやアプリへ先着順に戻されるシステム。「仮想待合室」では、ユーチューブやミニゲームなどを貼り付け、待ち時間を有効に使えるよう工夫している。

・創立から10年、キューイットは数多くの組織の繁忙期を支え、イベントの成功をサポートしてきた。今では従業員は総勢200人。コペンハーゲンのほか、アメリカやオーストラリアにも拠点をもつ。

・2019年の東京オリンピックのチケット販売の際、東京都から打診があったことから日本人を採用。2022年の同社の年度契約額のうち、約15%は日本の企業が占めるに至っている(東京都も顧客)。

・イエスパーCEOによれば、「日本は失敗は許されないといった風潮があるが、デンマークでは『やってみる、失敗しても決めたからには再度やる』といった風潮がある。そして、教育がしっかりしているから優秀な人材が豊富であり、起業しやすい土壌がある。何時間、何処で仕事をするかは重要なマターではない。命じた仕事（課題）を、決めた期限までになされているか確認すること、それがCEOの役割である」とのことであった。

・初めにオフィス見学をさせていただいたが、多国籍の方々が自由に、明るく仕事をしている雰囲気が満ちていた。打合せを終えた16時30分頃には、既に社員のほとんどが帰宅していた。デンマーク人は、家族との時間をなによりも大切にするとのこと。「働き方改革」という言葉などはこの国にはなく、既に達成されている。成熟した社会が形成されている。



●10月10日(火)

1 デンマーク日本国大使館 10:00~11:45

【対応者：原田公使参事官、吉田二等書記官】

<政治>

・中道左派（社民党）を中心とする3党連立政権。ホットな話題としては、国防費をGDP比2%への引上げが決定されたことが挙げられる。ウクライナ支援には積極的で、軍事面だけでなく、人道支援にも取り組んでいる。現在、女性徴兵制度が検討されている。

・歴史的に、左派政権でも右派政権でも、高福祉高負担政策に変わりはない。

・NATO及び米国との関係を重要視。EUとの関係は微妙なものがある。（ユーロではなく、独自通貨（クローネ）を使用している。）

<経済>

・コロナ禍後、経済は急回復。その基盤には、CPR Number制度をはじめとするデジタル化の進展がある。2019年にはDigital Postが整備され、行政とのやり取りがデジタル化（行政からの通知などは個人のメールBOXに届く。）によって、コロナ流行の際も日本のような混乱はなく、オンライン授業などもスムーズに実施された。国連の電子政府ランキングでは2年連続1位。

・主要産業は、再生可能エネルギー、農業（畜産・酪農）、海運などであり、特に再生可能エネルギーを積極的に導入。

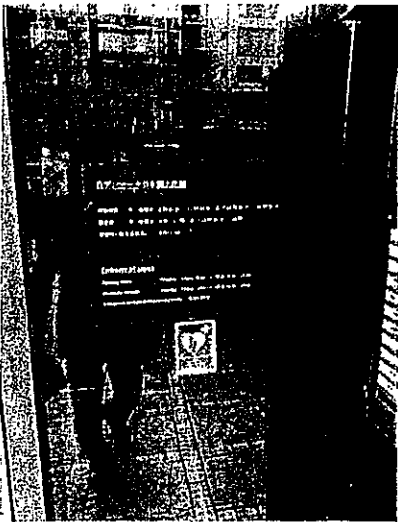
<社会政策>

・高福祉高負担社会。所得税の割合が最も高く、通常の会社員の総収入のうち50%は税金。医療は原則として無料で、遠隔診療等にも注力している。

・小学校～大学の授業料は無償。デンマークでは、学生が大学への入学前、在学中、卒業後に就職するまでなどの時期に、留学やインターンシップ、ボランティアなどの社会体験活動を行うため、大学が猶予期間を与える制度、「ギャップイヤー」が浸透しており、この間も給付金が支給される。しかし、社会で働くことが遅くなることに対する非難もある。

・デンマーク人には「ヤンテの掟」（1930年代にデンマークの作家アクセル・サンデモーセが書いた小説に由来した言葉で、作中に出てくる架空の村に存在する10戒のこと。）が浸透しており、「相手が自分より劣っていると思っはいけない」といった平等意識が強い。

・「デンマーク人は一生に6回転職する」といわれるほど、流動的な労働市場、転職の容易さ、充実した失業手当（2年間、9割保障、平均約30万円といわれているとのこと。）があるが、高度理系人材や熟練技術者が足りないといった課題につながっている。



2 DDC（デンマークデザインセンター）13:00～14:00（案内者：北欧研究所 ■■■■■、■■■■■）

【対応者：■■■■■さん、安岡准教授】

DDCは、デンマークの国立機関でデザインを様々な分野に活用することを目的に1978年に設立され、共創による社会課題解決を推進している。半官半民の研究機関で、官庁が50%の資本を保有している。デンマーク国内の企業や行政が、デザインを通して新しい価値を生み出すために多くの支援を行っている。デザイナーのマインドセットをスタートアップ企業から中小企業、大企業に導入する試みを主に実施しており、デザインのもつ効果についてのデータ収集や分析、情報提供も行っている。デザイナーやエンジニア、文化人類学者などでメンバー構成され、多様性のある組織を標榜している。DDCでは毎年、デザイン分野で最も優れた業績を残した人や企業を表彰する「デンマーク・デザイン・アワード」を主催している。

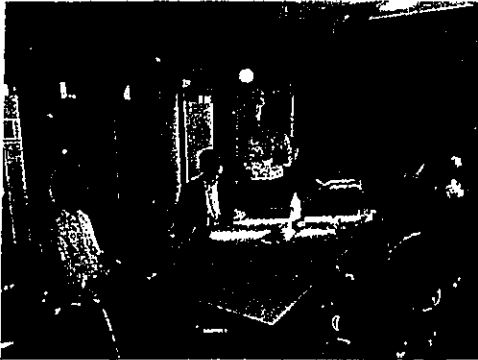
DDCで昨年からゲストリサーチャーとして活動しておられる、「富士通株式会社 Antenna（※）プロジェクトリーダー」の■■■■■氏から、自身の取組みなどについて説明を受けた。

・DDCはデジタル技術によって見えない世界をタンジブル（実態がある様）にする組織である。

・人生を豊かにするためには、「心の余白」を作り出すことが必要であり、そのた

めにもデジタルの有効活用が重要である。

(※)「Antenna (オンテナ)」とは、髪の毛や耳たぶ、えり元やそで口などに身に付けて使える、音の特徴を身体で感じるユーザーインタフェース。音を振動と光の強さにリアルタイムに変換することで、ユーザーはリズムやパターン、大きさとといった音の特徴を聴覚を用いずに知覚することができる。



3 デンマーク在住日本人とのワークショップ 14:30~17:00 (北欧研究所主催)

【コーディネーター：北欧研究所 安岡准教授、 】

参加者： (医師)、 (ワーホリ中、建築系)、 (大学生)

 (ワーホリ中、北欧家具)、 (10年前留学、最近夫婦で移住)

 (21年在住)、 (キューイット社員)】

<テーマ1> 地方における若年層の流出と高齢化について

○働き方

・デンマークでは仕事が魅力的か、自分のスキルを活かせるかを重視するが、日本は都会志向が強い(特に文系)。地方における働き方に課題があるのでは。その会社だけでなく、社会全体が色々な意味で許容性、寛容性をもたないと、その地から若者は離れていく。

・デンマークでは、残業なし、帰社時間が早い、休暇取得が容易など、家族の時間を重視する。起業志向が高い。

○子育て環境

・豊かな自然、食がある地域は魅力的。富山もその一つ。

・デンマークでは、教育費が無償であることや、在宅勤務など子育てに有用なフレキシブルな働き方が当然といった社会風潮がある。

・子どもを預ける場所として様々な形態があり、親の責任で選択できる要素が多い。

Q 富山県での起業を促進するには何が必要か？

A ・起業後のリスクをカバーしてくれるシステムがあればよい。また、起業の際の金銭的な支援がポイントになる。

・働き方をフレキシブルに、そしてそれを許容する社会風潮

・子育てをするにはいい環境

<テーマ2> デンマークの生活とデジタル

・データがすべて管理されており、現地(行政機関、銀行など)に行かなくても諸手続きが可能。行政側からの連絡もすべてデジタル化(ペーパーレス)

・デジタル化により、人間の労働力が有効活用(より必要なところに配置)されている。

- ・キャッシュレス社会
- ・アプリで電車、バスの遅延状況がわかる。住所変更手続はスマホで完結。
- ・デンマークは基本的に個人情報をオープンにする文化（行政を信頼してる）、完璧なものなどないという意識が浸透しているから上手くいっている。



※この後、参加者の方々とともに夕食をとりながら、さらに議論を深めた。



●10月11日（水）

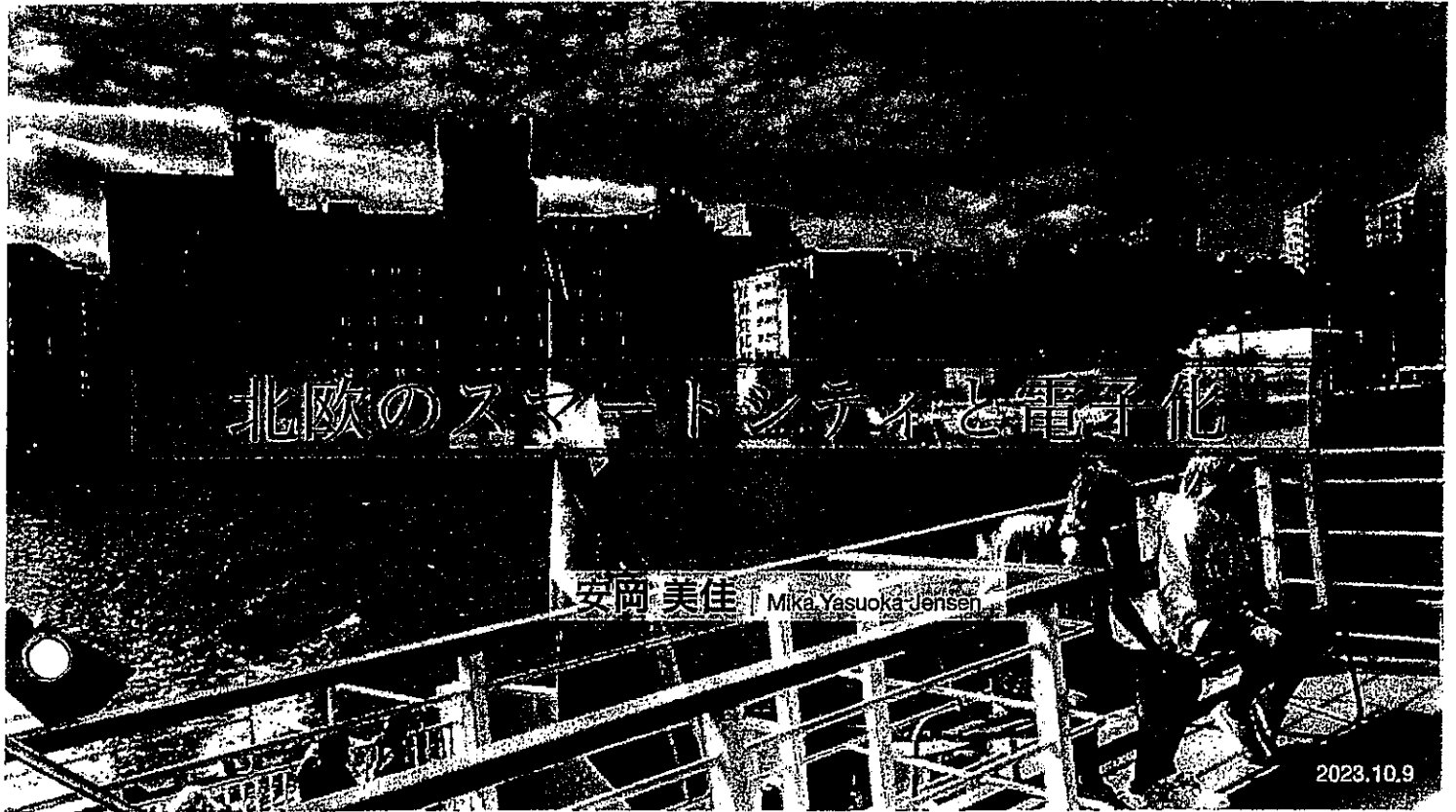
移動日

12:05（現地時間） コペンハーゲン国際空港発で羽田空港へ

●10月12日（木）

帰国

7:55 羽田空港着 → 富山へ



安岡 美佳 | Mika Yasuoka

○ 研究者 / 教育者

北欧研究所主宰、ロスキレ大学 情報学 サステナブル・デジタルイノベーション 准教授、一橋大学客員研究員、国際大学グローコム 客員研究員

京都大学大学院情報学研究科修士課程修了、東京大学工学系先端学際工学専攻を経て、2010年1月にコペンハーゲンIT大学で博士号取得。コペンハーゲンIT大学助教授、デンマーク工科大学リサーチアソシエーツ等を経て現職。2005年から北欧在住。

スマートシティインスティテュートエグゼクティブアドバイザー、会津若松市スーパーシティアドバイザー
株式会社メンバーズ外部取締役、Japan Chamber of Commerce in Denmark (JCCD)副会頭

専門は、ユーザーセンターデザイン、ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)、デザインイノベーションにおける共創手法 (参加型デザイン、リビングラボ)。AI・ロボットを含めたITの社会実装など。2000年代からデジタルシティの研究に取り組み、電子政府、都市におけるデジタル化、スマートシティ、ソーシャルロボットAvatarの各種プロジェクトに関わる。



企画財務部会 海外政務活動

報告書（各自の所感）

部会長 川上 浩

企画財務部会 コペンハーゲン ウェルビーイング視察

令和5年10月7日～12日

渡辺守人、山本徹、篠師富士夫、川上浩、立村好司、瀧田孝吉

コペンハーゲンを視察地に選定するまでの経過

5月中旬、企画財務部会で視察について検討している中で、県政の重点課題であり、企画財務部会の所管事項でもあるデジタル化、スマートシティへの取組、住民の幸福度についてが話題となり、富山県は国内でも先進的な取組でもあり、世界的には北欧諸国が先進的な取組をしており、国民が感じている幸福度も高いことが共通認識となっていた。

さらに調査する中で、デンマークにおける北欧諸国のスマートシティについて研究出版している「北欧研究所（デンマーク在住の日本人安岡美佳氏（ロスキレ大学准教授）が主宰）」の存在を知った。著書を数冊購入し検討。

折しも、経営企画委員会ではデータサイエンス教育、大学発のスタートアップ企業育成、デジタル化、カーボンニュートラルへの取組などを題材として視察候補地を選定。会津大学を始め、福島県内の視察を計画した。

その事前調査段階で、会津若松市がスマートシティ事業に取り組んでおり、さらにそのコーディネーターに北欧研究所の安岡美佳准教授が関わっておられることが分かった。

出版社を介して、安岡准教授にメールによりアポイントを取る。デンマーク在住ということで直接面談することができず、さらに7時間という時差があるため、メールにより情報収集を進める。安岡先生と視察内容検討とスケジュール調整を進め、ズームによる直接面談打合せを行う。さらに数回にわたり詳細な計画検討と調査項目の打合せを行い、最終ズーム面談に臨み、視察の可能性を確認した。

企画財務部会員一同の同意を得、視察の可能性と調査事項、日程等について具体的に協議を進める。現地での対応も北欧研究所のメンバーが主体となり進めること、現地在住の日本人の方々との意見交換の場を設けることなど、具体的内容についてつめる。

スケジュール調整も可能となり、デンマークへの視察研修について、最終的に部会員一同で決定。

10月7日

羽田発11:45スカンジナビア航空出発遅れ、12:30離陸
太平洋を北上し、北緯84度、西経44度へまわり、ベーリング海を通りコペンハーゲン空港へ。途中、眼下に北極海と思われる雪原が広がり、割れ目ものぞく。

機窓右上部に見える星は、北極星か。眼下の雪原から流水域となり、着陸2時間ほど前に、西経0度、東経0度を通過。着陸態勢に入り、日本時間8日午前1時（コペンハーゲン時間7日午後6時に着陸）

空港でアシスタントの■■■さんと合流、航空機が早めに着いたために、専用車は到着しておらず。20分ほど待ち大型バスが到着。気温は12、3度ほどと日暮れもあり冷え込んできた。

アストラルホテルに荷物を置き、食事会場へ。ホテルは、コペンハーゲン駅横のベストポジションではあるが、クラシカルで雰囲気があるものの、近代的なホテルに慣れている私たちとしては、戸惑いがあった。

コペンハーゲンの街は、歴史を感じさせる都市空間となっている。街並みが暗く感じたが、電気消費量を減らすための暗さとなっており、コペンハーゲンの人々は、慣れているとのこと。土曜日とあり、ホテル、駅周辺は朝方まで騒がしかった。時差もあり長時間寝ていなかった私としては、気にならずすぐに眠りについた。しかし2時間ほどで目が覚め、再度寝直し、午前6時ごろに起床した。

10月8日

早朝、周辺を散策。

駅、周辺には噂通りセブンイレブンが多数。やはり電子決済が主流のようで、切符、ゲーム、買い物の決済は多くがカード決済。

街中の大通りは、幅も広く、自転車、バスなどの専用レーンが並んでいる。

無電柱化も進んでおり、バス停にはMaaSのデジタルサイネージが設置されていた。

Bane Gaarden (バーネガーデン) 北欧研究所 ■■■さん、■■■君と合流
DSB (デンマーク国鉄) 車庫、修理場跡 4名の研究者兼投資家により再開発された。

都市中心部における公園的施設で、食(特に野菜)に関するサステイナブルなオーガニックについて研究する場ともなっている。

車庫を9棟リノベーションし、レストラン、カフェ、居住エリアなどに分けられており、食に関する出店が多く見られた。

さらにシュタイナー教育の小中高一貫校が開設とのことで(～中2同じクラス・担任)、精神、発見、体験、芸術について自由に育つ教育を目指しているとのこと。

公園内の一角に、学生寮的なビレッジが存在。自治的運営になっているとのこと。食事をとりながら談笑する学生を見かけ、自由で多様な空間として利用されていることを感じた。

Open hill (コペンヒル)

廃棄物焼却処理場(サーマルリサイクル)であり、発電、市内への温水供給による熱源供給、処理場の高さを利用しスキー場設置。

コペンヒルは、処理場施設を丘に見立て、人工スキー場を併設し、市民の憩いの場ともなっている。また周辺には、海洋風力発電機が並び、洋上潮位発電がありデンマークは再生可能エネルギーにより84%を賄う。

デンマーク自体が、ほとんど平坦な国。

市街地にも近い平坦地に廃棄物処理場があり、大掛かりな送電施設も必要なく、熱源とともにエネルギー供給している点は、サステイナブルであり、環境問題に正面から取り組んでいることがわかる。

コペンハーゲン中央図書館

街中心部の古い建物をリノベーションしており、図書館の機能もさることながら、市民交流の場所であり、自習空間も広くとられており、世代を超えた利用が見受けられた。特に子供向けのスペースが大きくとられており、親子で自由に利用しており、ふれあいの場ともなっていた。もちろん、図書の貸出、返却はIT利用で自動化されており、カウンタでの対応の日本とは大きく異なった。

10月9日

コペンハーゲン大学にて安岡美佳ロスキレ大学人教授による「デンマークのデジタル化、コペンハーゲンのスマートシティ」について レクチャー

北欧諸国は、グリーントランジションに舵を切り、生活に根付いてゆく。

1968年に税の捕捉のために導入された CPR（個人番号）を利用して、1970年に高福祉社会化に取り組むことを明確化した。

デジタルのインフラ整備に20年を要し、さらにネットワーク化により各分野のシステムが稼働するという段階を経てフェーズを少しずつ高めてきた。

行政から個人への連絡は、メールにて直接届く。（児童手当の申請などは、窓口に出向くことがない。）

個人と行政の間の「トラスト」信頼関係が強い。

行政から市民への連絡が電子化され、直接市民に届くこと可能となる。

コロナ禍の支援金支給もデジタル化により、各企業の業績も補足でき、速やかに対応。業績が落ち込んでいる企業に対して、数日で支援金交付。

デンマークには自動車産業がないことが、CO2 対策としても自転車の普及に拍車をかけた。また行政などの主要施設が都市中心部に集まっている。

自転車ハイウェイ構想が打ちあがられ、2045までにカーボンニュートラル。道路には、歩道、自転車道、車道が区分されて走っている。自転車道を自転車がスピードを上げて走っていくので、うっかりすると跳ねられそうになる。

街中には、データ把握のカメラが設置されており、そのデータは公共財としてオープン化されており、誰でもアクセスが可能。

“デジタル化、データ化は何のために進めるのか”

福祉国家を守るため、データを活用して福祉の質を落とさないように努めている。

コペンハーゲン大学を始め、デンマーク国内の8大学ではインキュベーションセンター、Lobを併設している。

トップダウンではなく、共創の時代へ

- ・見えないスマートシティ
- ・便利、効率的、快適な日常生活
- ・福祉国家の維持（市民のウェルビーイング、グリーントランスフォーメーション、行政の効率化）

・慣れ、信頼、共創

改めて福祉国家デンマークが、どのように形成されてきたかを知る一端となった。

Queue-it (キューイット) デジタルソリューション企業へ

CEO イェスパー・エッセンドロップ氏、ビジネスデベロップメント (日本担当チームリーダー) ■■■■■さん、■■■■■さん

ネット上の仮想待合室をシステムに組み込むことにより、一時的に集中するWEB上のチケット受付を仮想待合室へ誘導し、申込者のストレスや逃げを防ぐシステム。2019東京オリンピックチケット販売で導入。現在1000社を超える企業団体が導入。アメリカ40%、ヨーロッパ40%、日本20%となっている。2018の創業以来業績はうなぎのぼりであり、2020年には150名規模の企業とデジタル化による社会・企業課題を解決する企業となった。

CPR (個人番号) があってこそ、効率よくシステム化することができた。

デジタルファーストは、誤りがあってもデジタルでやり直す、ステップバイステップの取組が必要。

デジタル化は、何のために、誰のために推進するのかを明確にしながら進めることが、住民との信頼関係図ることにつながり、さらに深化させることが可能となると感じる。

10月10日

日本大使館 (原田公使参事官、吉田二等書記官)

原田公使

高卒後、ギャップイヤーという、自分の進む道を考える猶予期間が1年間与えられており、その後、大学、就労支援学校へと進む。大学は原則修士までとなっており、就職するまでの期間が長く、労働力不足を招いている。この間は修学給付金が住宅支援金とは別に支給される。当然授業料などは無料。

仕方なしに就職につくことはない。「いやなことはやらない。(我慢しない)」教育の徹底により、知的集約的な産業が発展しており、収益性が高い。

「ヤンテの掟」

自分は、他の人よりも賢い、偉いなどと思わないことなど、平等意識が高く、

政府高官であっても自転車登庁している。

就労市場は、フレキシビリティであり、一生に6回の転職は当たり前
無職期間は、easy to fire

日本進出している「イケア」は、世界一の高齢化に注目して進出している。
ウエルフェアビジネスで注目を浴びる。

富士フィルムがデンマークに大きな投資をしている。

医療には大きな違いがあり、医療費の無料は、かかり付け医が指定されている。
延命治療という概念は、一般人にはない。

無料診療を受ける一般人の医療アクセスは悪く、時には症状が出ても、命に別
状なければ、数カ月待たされることも。

有料治療を受ければ別である。

吉田書記官 民間企業より出向

公務員の労働環境はハードであり、年に30%が離職する。

高度な理系人材不足、専門職業者不足：職業教育への力点も

転職者は、再就職するまで給付金がある。(2年間は90%) 新たな仕事探し

労働組合は職能別となっており、加入率は70%

DDC (デンマークデザインセンター)

1978年に設立されたデンマークの国立機関であり、デザインの発想を様々な分野に活用し、共創という観点に立ち社会課題を解決に導くことを目的としている。半官半民の団体でありデンマーク国内のスタートアップ企業から中小、大企業、デザイナー、エンジニア、文化人類学者など幅広い人材がメンバーとなった組織となっている。デザインの持つ効果についてデータ収集や分析、情報共有も行っている。

社会課題解決に向けた、国家的プラットフォームともいえるのではないかと感じた。富士通から出向しているプロジェクトリーダーの■■■■氏から伺った音の特徴を、体で感じるユーザーインターフェイスは、インクルーシブなものであり、昨年視察した落合陽一氏が取組んでいる波動を利用した社会課題解決の取組との共通性を感じた。

コペンハーゲン在住者とのワークショップ

コーディネーター：北欧研究所 安岡准教授、■■■■■ 研究員

参加者：■■■さん（医師）、■■■さん（建築、都市空間研究、ワーキングホリデー中）、■■■さん（学生）、■■■さん（北欧家具研究、ワーキングホリデー中）、■■■さん（10年前留学、最近夫婦で移住）
■■■さん（21年在住）、■■■さん（キューイット社員）

テーマ①地方における若年層の流出と高齢化について 働き方について

デンマークでは仕事の選択に、魅力的か、自分のスキルを活かせるかを重視している。日本では都市志向が強いと感じるが、地方における働き方に課題があるのではとも思う。地域社会全体が、多様性を受け入れる許容力、寛容性を持っていないと若者は離れていく。

デンマークでは、残業がなく、帰社時間が早い（16時頃には道路も電車も混み始める）、休暇取得が容易であり、家族や趣味の時間をしっかりと持っている。また起業志望も強い。

子育て環境について

デンマークには豊かな自然と食の魅力があるが、富山県もその一つではないか。教育費が無償であることや、在宅勤務など多様な働き方があり、子育てにはフレキシブルな働き方は当然といった社会風潮がある。子供を預ける場所として様々な形態があり、親は自分の責任で選択できる。

「富山県で起業促進するには何が必要か？」の問いに

「起業後のリスクをカバーしてくれるシステムがあればよい。また起業の際、金銭的なサポートがポイントとなる。」との回答。

テーマ②デンマークの生活デジタル化

CPR（個人番号）により、個人のデータが一元管理されており、行政、金融機関の手続きなどは窓口に出向かなくても対応が可能となっている（住所変更手続きもスマートフォンから）。キャッシュレス社会が浸透し、現金を持ち歩く必要がない。また行政からの連絡もペーパーレス化されている。デジタル化により労働力がよりエッセンシャルな部分に配置されている。

Maasが広く利用されており電車、バスの利用の利便性が高い。

デジタル化が進み、基本的に個人情報オープンにする文化が根付いている。

（行政と市民の信頼関係が強い）

所 感

北欧は、高福祉高負担との認識は持っていたが、そこに至るまでのデジタル化が果たした役割、またその進化の歩みを学ぶにつけて、「誰のために、何のためにデジタル化を進めるのか」を明確にして取り組んできた姿勢が、行政と市民の信頼関係を強めることにつながり、まさに安岡先生に伺った「トラスト」が醸成されていったことにつながるのではないか。

市民は高福祉高負担への不満よりも、福祉国家を維持発展させるための負担増についても否定的ではないとの安岡先生からの報告は非常に印象的であった。

また、古くからの建物をリノベーションして使い続けている区域の中に、近代的なデザインによる建物が組み込まれていること、オーガニックを意識した食循環が取り入れられていることに、住食におけるサステイナブルな社会づくりに取組まれてきたことを感じ取れた。さらに風力発電や、バイオマス発電を利用した地域の電力と熱供給は、再生可能エネルギーを用いたデンマークのカーボンニュートラルへの取組の本気度がうかがい知れた。

さらに無償の教育、医療制度や無収入を防ぐ社会保険制度、住宅支援制度など年金支給と合わせ、国民に対して生活していく上での大きな安心感を与え、よきにも悪しきにも競い合わない国民一人一人の価値観による幸せ作りが存在するのではないかと感じた。

今後の課題として安岡先生が語られていた「デンマークは造船業などの重厚長大な製造業から知的集積産業への移行が進んできたが、もう一度形のあるモノづくりを見直していく必要があるのではないか。」との提言に共感も覚えた。

しかし、ウェルビーイングは、一人一人の価値観によるものであることには間違いないが、社会から孤立化して生きることができない個人にとって、行政と個人の関係はどうあるべきなのかと考えた時、思い浮かぶのは「国は私に何をしてくれるかではなく、私は国に対して何をできるのか。」というあのフレーズ。負担増によっても、高福祉を維持してほしいという国民的コンセンサスが得られているという中での幸せ感、やはり政府と国民の信頼感の上に成り立っているものと感じた。

企画財務部会 海外政務活動

報告書（各自の所感）

副部会長 立村 好司

1 デジタル化先進国

デンマークのデジタル化の浸透度は予想以上であった。

高福祉国家を持続するためには、高負担を維持する必要があったが、高齢化、国庫の逼迫、労働者不足などの課題が生じ、デジタル化による効率化を図らない限り、高福祉高負担社会を維持できなくなった。そこで1968年に「CPR制度」が導入された。今では、CPR numberに様々な個人情報紐づけされているが、現在の状態に至るまでに様々な課題、あるいは失敗があったとのことだった。それでも、デンマークには、「失敗しても決めたからには最後までやり遂げる」といった社会風潮がある。

現在、日本ではマイナンバー制度に関し、様々な問題が生じているが、課題を解決し、制度を確立させていく必要性を実感した。そのためには、デンマークのように、行政（政治）が国民の信頼を得て、共創の理念のもとに進めていかなければならない。なぜ、デンマークでは行政（政治）に対する信頼が厚いのか。その答えの一つは「投票率」に現れている。デンマークの国政選挙の投票率は80%を超えるという。自分たちで選んだ政治家、政権だからこそ信頼は厚い。また、デンマークでは政治、行政分野での汚職問題がほとんどないとのことであり、これも信頼を得ている一つの要因であろう。

デンマークのスマートシティの基盤となっているデジタル化。デンマークの人々は、サステナブルな生活を望んでいる。その生活を実現する仕組みを、様々な制約、課題の中で追求した結果、社会全体でデジタルが活用され、結果として、その姿がスマートシティと呼ばれるようになったと思われる。デンマークのスマートシティは、デジタル化主導で始まったのではなく、人々が望む生活の姿がデジタル化によって具現化されたものと言える。

視察前に安岡先生と打合せをした際、「スマートシティの先進事例を学ぶことが視察目的の一つ」と言った時、困った表情をされた。先生によれば、「デンマークのスマートシティの特徴は、目に見えないが根付いていることであり、視覚的に実感できる部分がない。」とのことだった。実際に現地に行ってみて、それぞれのシステムが、強固な技術と社会インフラによってネットワーク化され、人々が心地よく生きていくための仕掛けが街に張り巡らされており、確かに目には見えないが、社会に浸透していることが感じられた。

2 デンマークのカーボンニュートラル

デンマークの発電電力源内訳（2021年）をみると、既に再生可能エネルギーの占める割合が80%となっている。そのうち、風力が60%、バイオマスが30%を占める。

コペンハーゲン市のバイオ発電施設として有名なコペンヒルを視察した。まずは、その施設の大きさに圧倒された。そして、コペンヒルから海を眺めると、何基もの洋上風力発電施設が見えた。デンマークは、2011年に、2050年までに化石燃料からの完全な脱却を目指す「エネルギー戦略2050」を公表している。これらの施設を見て、その実現性は高いと思われた。コペンヒルは、単なる廃棄物処理・発電施設ではなく、建物の傾斜を活かしたスキー場、ジョギングコースやカフェを設置するなど、市民の憩いの場としても活用されていた。多額の投資が必要であろうが、真剣にカーボンニュートラルを目指す上で、コペンヒルはモデル事例になると思われた。

その他にも、環境に配慮したグリーンモビリティとして、デンマークでは「自転車」が主要な移動手段となっている。コペンハーゲン市では、都市の排気汚染対策として自転車利用の促進政策を行っており、例えば車道の縮小、一方通行化などを行い、空いたスペースに自転車専用道路を整備するほか、自転車専用の橋や高速道路を整備するなど、自転車インフラに積極的に投資していることが伺い知れた。

3 高福祉高負担社会

デンマークをはじめ、北欧諸国は高福祉高負担国家として有名である。大使館の方の話によれば、通常の会社員でも50%は税金として徴収されるとのことである。それだけ高い税金を払ってまで、居住し、あるいは移住する者の思いが理解できなかったが、現地に赴き、見聞することにより理解できた。旅行会社の現地アシスタントによれば、経済状況が良好な際、政府が減税を試みたところ、国民から「減税できるほど予算があるなら福祉政策に使い」といった声が上がったとのことである。要するに、税金は「徴収」されているというより、「投資」として考えられている。投資なので、将来の生活に還元される、といった政治（行政）に対する信頼がある。

信頼を得るまでに、デンマーク政府や行政の苦勞、努力はいかばかりであったか。県議会議員として、県民の信頼を得るための努力を怠らず、今後の議員活動に取り組んでいきたい。

4 追記

デンマークは、「幸せな国」と言われる。実際に現地で見聞し、それは確かであることを認識した。デンマークと日本は、自然との共生を重視するなど、共通点もある一方で、個人主義がベースで自己主張が強く、フラットな組織での合意形成を尊重するデンマークと、同質性や現状維持を志向し、時には自己犠牲も厭わず協調性を重視する日本とは、社会性が異なる面も多い。しかし、日本が築き上げてきた社会保障制度、経済社会、文化など、社会システムを充実していくためには、デンマークに学ぶことは多くあると感じた。

企画財務部会 海外政務活動

報告書（各自の所感）

渡辺 守人

1. コペンハーゲン市におけるスマートシティ

北欧モデルとは スマートシティとは

ウェルビーイング (幸せ) × デジタル × 環境配慮 × 民主主義 正にデジタルデータは幸せと関係がある。よってこれ程、税負担 消費税 25% 地方所得税 25% とこの 2 つが大きな割合を占め、多くの人が広く地方所得税を負担。納得の元、皆で使う。よってコペンハーゲン在住の人に聞くとだれもが暮らしやすい、不安を抱えず生活ができる社会システムがデンマーク国では出来ている。裏付けはやはり自治体の財政が非常に充実していると考えられる。日本の地方自治体は現在でも依存財源に頼っているため、教育、医療等様々な行政サービスに還元されない。コペンハーゲンのようにダイレクトに行政サービスを受けられないのでは。若い人とのワークショップでも人生設計を自由にできる環境にあり、学びたい時に学び、起業したいときに起業。自由なライフスタイル、柔軟性や新しいことにチャレンジできる風土があり、積極的社会政策、フレキシビリティが制度として根付いている。そして文化面ではヤンテの掟 身分問わず平等、謙虚という道徳が有り、みんなで支えあって社会全体を良くしていこうという。又、起業においても一人勝ちではなく社会を良くしていく、共存という考え方があり、社会でささえるセーフネットがある。

私はスマートシティとは決して ICT や ITO、AI などの先端技術によって成り立つ物ではないと逆に今回の視察で強く思った。

2. デジタル化先進国

デンマークにおけるCPR番号制度、個人認識システムなどの電子政府の取り組みが、日本より約半世紀早く、紙、窓口を使わず対応可能な仕組みを構築。

1968年にCPR番号制度を導入。国民全員に付与され、市民と行政のやりとりはすべてこのカードで事足りる。これも信頼関係があるからこそ。2000年代には電子私書箱・デジタルポスト・行政や病院からの連絡を送る電子メールシステム・個人認証システム・NemID等 デジタル化が国民生活の日常に深く溶け込んでいる。当然、経済活動等にもデジタル化は必須。国の人口が580万人弱だから出来ることなのか？思わず我が国、富山県の行政サービスと比べてしまう。

デジタルデータはウェルビーイングと関係しているのか？

パーツだけとって比べても意味がないのでは？トータルで考えなくては北欧モデルが日本国の行きつく先なのか？国の制度、法令が違いすぎる。北欧モデルに我が国のウェルビーイングを求めても？色々と考えさせられた。

3. カーボンニュートラル先進国

デンマークはEUの中でも、環境・交通・エネルギー政策は最先端。コペンハーゲンではそのさいたるもの。視察先のバーネコーデン コペンヒルはサーキュラーエコノミーのさいたるもの。そして市民にとって親しみやすい施設になっている。非常に見せ方がうまいと感じる。

2019年に2030年までのGHG(温室効果ガス)排出70%削減の目標 1990年比を設定。2030年迄、廃棄物65%をリサイクル、石炭の使用をゼロ。2035年電力と熱供給を再生可能エネルギーに。又 洋上風力発電を数多く見る。町では公共交通機関として自転車40%・徒歩75%・電気自動車のバス、タクシーを多く見る。まさにエネルギー戦略が産業政策の柱になっている。

大変刺激を受けた視察であった。いたる所で日本、富山県、私の日常生活と比べ、大いなる違いを感じた。生まれた時からパソコンがある若い世代はどのように感じるのだろうか？経済のグローバル化は止まらないだろうし、世界の出来事も瞬時に知ることが出来る時代。視察を通して時代の端境期に我々がいるように強く思った。

企画財務部会 海外政務活動

報告書（各自の所感）

山本 徹

コペンハーゲン所感

山本 徹

① デンマークの電子化

ロスキレ大学の安岡美佳先生のレクチャーが、たいへん分かりやすかった。先生のサジェスションがなければ、デンマークに対する理解を深めることは、できなかったと思う。心から感謝申し上げたい。

デンマークの個人番号は CPR。

1968 年に導入された。

55 年の年月をかけて、今日のスマートシティとしてのコペンハーゲン、デンマークの世界における電子政府ランキング首位の座は築かれてきた。

この間、政府は、デジタルインフラを整備し、セキュリティと透明性を確保して、国民の信頼を得、失敗を繰り返しながらも、デジタル化を推進してきた。eday1 から現在は eday4。およそ 10 年を一期間として、4 つの段階を計画的に、政府と国民が一緒になって進めてきた、その結果、今日がある。

デジタルトランスフォーメーションの推進にあたり、政府と国民の間には、一つの信念がこれを貫いている。

その信念とは、「デジタルインフラ、データは国の成長力・競争力の源泉である」

デンマークのスマートシティには 3 つのプラットフォームが大きく機能している。

第 1 に個人番号である CPR。（本文にある通り、日本におけるマイナンバー）医療や薬の処方実績、教育課程における成績、銀行口座、年収までアクセス可能。個人情報、時系列に沿って逐次更新され、保管されていく。本人はもちろん、必要あれば誰でも見る事ができる（誰でもフリーに閲覧できるという意味ではない）。誰がアクセスしてきたかも、ログが残り、本人が確認する事ができる。

第 2 は電子署名の仕組み、mit.id。

これによって、デジタル上での本人認証が可能となる。

CPR と連携することで、mit.it が電子申請をがっちり補完し、銀行振込み、各種届出等をスマートフォンからでも行う事ができ、そのためスウェーデン国民は窓口へ赴くという事が、ほぼ無くなる。

第3は bok.dk。

政府関係の通知、連絡は全て bok.dk を通してメール配信される。政府と国民を直接繋ぐこのプラットフォームによって、98 のコミュン(地方行政体、日本の市や町に相当するが、権限は小さい)に負担がかかることは無いものと思われる。

ただし、受け取る国民の側には、メールをチェックする必要が生じる。日本的な新聞やチラシによる政府公報、ホームページ、回覧板に比べてどうか、という点においては、今回の視察では確認ができなかった。

この3点セットによって、行政や関係機関の窓口業務をはじめとする各部署が、どのくらいコスト削減になったことだろうか。エンドユーザーである国民の利便性や快適性が、どのくらい向上したことだろうか。

人口 586 万人のデンマークにおいて、国民一人当たり GDP は世界第 9 位 (IMF 統計に基づく 2022 年のデータ、ちなみに日本は 32 位)。生産性向上についてはデータで答えが出ている。

デンマークにおいても、デジタル化が問題なく進んだわけではない。

日本と同じように、すったもんだあったようである。

セキュリティの問題や、インターネットに馴染めない人たちへの対応など。

安岡先生からは、そうした事態への対応として、3つの視点をご示唆いただいた。

第1に馴れ。第2に信頼。第3に共創。

本文に詳しいので参照されたい。

② 高負担高福祉社会の根元にあるもの

保育園から大学まで、教育費は全て無料。

そればかりか、大学生には月 12 万円ほどの給付金がある。

デンマークには「ギャップイヤー」というのがある。見聞を広める活動や新しいことに挑戦する自分のために使える時間として、大学在学中や就職前の学生

は「ギャップイヤー」を取得することができる。1年間、留学やインターン、アルバイト、旅行、なんであり。もちろんこの間も給付金は受け取れる。大学へ進学すると、大抵は大学院まで進む。(ギャップイヤーを含めると7年間!)

もちろんその期間は学費は無料だし、前述の給付金も受け取れる。

病気やけがによって仕事ができなくなったり、転職の際一時的に休職したりした時にも、政府によって生活は保護される。医療費についてもほとんど無料である。

高福祉社会の実現は、デンマーク国民の間に、高い安心感を産み出し、その事が公共性の高い国民性と愛国心へと繋がっていくし、ひいては幸福を感じさせる基礎となっていると思われる。(DDCでの研修で、 氏のお話にあった、「心の余白」をも、もたらしめているのではないか。本文参照)それがデンマークの自慢である。

従って、高福祉のため、高い負担する事は当然のことと受け止められ、国民の負担によって高福祉国家がある、という自負が感じられる。その証左として、税を払わない移民や難民が高福祉を享受することに対しては、国民的な反発がある。

先に述べた、高い教育環境(?) (しかも就職する時には20代後半になる)についても、デンマークの将来を支える人材を育てるには当然、という国民感情がある。

苦難を乗り越えてきた歴史がそうさせるのか。586万人の小国家でありながら、世界に通じる国家でありたいという自尊心がそうさせるのだろうか。

いずれにせよ、負担を厭わない強い思いがあるのだろう。

日本大使館で、原田公使から興味深いお話をお聞きした。

政府においては、与党も野党も粘り強く話し合いをする。

賃金を決める労使交渉においても、同様に労使ともに納得のいくまで議論をする。

徹底的な議論が、将来にわたって、安定的な運営に繋がることを誰もが理解していて、そうする事が、デンマーク人の誇りであると。

また、「他人より優れていると思うべからず」という、ヤンテの掟というのがあって(本文参照)、掟に背く言動は、恥ずかしい事とされていると。

安岡先生からは、このようにお聞きした。

デンマークの人は、社会で起こっている事を、自分の事として考えることができる。

社会で起こっている事と、自分の事を、合わせて一緒に考えることができる。

(ロシアのウクライナ侵攻によって国防意識が高まっていて、政府は女性の徴兵を提案したところ、しごく当然とする受け止めが大半で、特に大きな反対の声はない、と大使館でお聞きしたが、こういうことなのかと、思った。これが日本だと、どういう反応になるのだろうか。)

デジタルトランスフォーメーションの推進にあたり、政府がそれぞれの段階に応じて、国民の不安材料の解消のために、できうる限り丁寧に対処してきたとの、安岡先生からの説明は注目に値する。

デンマーク政府は、政策の決定、推進にあたり、国民との信頼関係を構築するために、最大限の努力を惜しまなかった。失敗は失敗と認め、改善のための努力を惜しまなかった。

電子国家、高福祉国家、教育先進国家、どの分野の政策実現も、政府・国民一体となった、デンマークの国民性に裏打ちされた、相互の努力により築かれた、相互の信頼関係がその根元にある。

それが、今日のデンマークの繁栄の秘密と言っていいだろう。

③ まとめ

デンマークの人口は 586 万人。

だからこそ可能だった。そう思わなくもない。

政府と国民が直接結びつくようなシステムの構築は、日本では不可能なのだろうか。

わが県の人口は 102 万人。

県と県民を直接結びつけるようなシステムの構築は、不可能なのだろうか。

デンマーク政府が、国民の信頼を得るために行ってきた努力を、我々の国や地域で行っていくことができないものかと、考えさせられた。

デンマークの投票率と我が国の投票率を比べれば、その努力が必要なことは、明らかなように思われる。

ヤンテの掟について、大使館でお聞きした時、日本にも「武士道」という道徳規範があることを思い出した。我が国にも、世界に誇るべき気風がちゃんとある。

お互いの信頼関係を築いて、我が国や地域の将来を、一緒になって作っていくという、デンマークのようなやり方を模索するとすれば、我々政治も、行政も努力するけれども、住民の側にも高い志を持って頂きたいと、そう感じた。

○ そういう目的意識をもって、今後の議会活動に取り組みたい。

④ 追記

コペンハーゲンでの最終日、夕食後の散策の途上、突然「I 'm hungry.」と話しかけられた。自分は旅行者だよと、そう思った私に、自分と同年代、50代くらいのその男は、「I 'm hungry.」と、もう一度言った。

○ 高福祉の国民意識の高いデンマークでは、路上であっても、市民にこう訴えかければ、何か食べさせてもらえる、そういうことがあるのかも知れない。そう思った。そうだとすれば、すごい国だな、と感心しつつ、しかしながら、どう見ても東洋人の私に「I 'm hungry.」と言うのは、どういう事なんだろうと、やっぱり不審な感じがした。

とは言え、その場は首を振って遠ざかるしかなかった私。

そんな私とは対照的に、「I don't know.」と言い放った、T君の豪胆さには感服した次第である。

企画財務部会 海外政務活動

報告書（各自の所感）

瘡師 富士夫

デンマーク(コペンハーゲン)視察の総括的な所感

自民党富山県議会議員会 政務調査会 企画財務部会

瘡師 富士夫

もし「あなたは幸せですか」と問われたら、「はい、幸せです」と答えた国民の割合が世界で一番多い国が、北欧の国デンマークです。今回の視察の目的としては、社会保障、医療、教育等の制度を含む行政を高度にデジタル化する北欧のスマートシティ、また 2045 年のカーボンニュートラルを目指し、主要産業にも掲げられる再生可能エネルギーの積極的導入、競争力を高める安定した経済の状況など多々あるわけですが、個人的に知りたかったのは、「高負担高福祉」の社会福祉国家でありながら資本主義の競争原理もはたらく中で、「なぜ、デンマークが世界で一番幸せな国なのか」「なぜ、経済と福祉のバランスがうまく取れているのか」ということです。人口約 590 万人、本土面積が日本の九州ぐらいの小さな国だからまとまりが良くできるのかと言った単純なものではないはずです。このような興味に対し、今回の視察をコーディネートしていただいたロスキレ大学の安岡美佳准教授の講演や在デンマーク日本国大使館でのお話から、なんとなく答えが導かれたように思います。

デンマーク国民の社会に対する「信頼」は計り知れません。国民負担率は 66%と OECD 諸国で第 3 位。大宗が租税負担であり、約 5 割超の所得税、25%の消費税など、高負担の税制。医療費や教育費は原則無料で大学在学中は教育手当もあるというから驚きです。まさに揺りかごから墓場まで生活の安全が保障されており、金銭的な不安を限りなく少なくてすむ社会を実現させています。平等な機会を与えるとともに、平等な生活を保障させるということです。高負担の税制に対して、なぜ国民から不満が噴出ししないのか、日本人の感覚からすると理解し難いわけです。

そして、社会の利益に貢献するとの目的のもと、ここでも「信頼」に基づくデジタル化が推進され、国民から支持を獲得しています。すでに 1968 年から、日本のマイナンバーに相当する CPR Number が整備され全国民に付与されたことが、デジタル化の基盤になっています。2010 年にはオンライン本人認証が、公共サービスや多くの民間サービスに活用され、2019 年から行政とのコミュニケーション(通知・手続き・申請)がデジタル化。新型コロナ感染症対策にも大いに活用されたとのこと。訪問したコペンハーゲン中央図書館では、返却する図書が人の手を借りず整理されていく様子が印象的でした。因みに、多くの子連れが図書館で遊んでいるのが見受けられ、日本の図書館とは違った雰囲気がありました。

また、デンマーク政府の気象変動対策としては、2030 年まで温室効果ガス排出量 1990 年比 70%削減、2045 年までカーボンニュートラルの実現を目指し、すでに電力の約 80%を再生可能エネルギーにより供給しており、EU 内、国際的な議論をリードしています。それに対し、私たちが訪れたのは「コペンヒル」というゴミ焼却用発電所でした。2010 年に 9 年の歳月をかけて古い発電所を建て替えもので、内部では、10 万世帯へ供給する再生電力用の最新鋭巨大タービンが稼働していました。その施設の屋上ではスキーやジョギング、ボル

タリングが楽しめる機能が併設されており、日本人には想像もつかないユニークさにデンマーク人の心の余裕を感じさせました。

このようなデンマークの政策の根底にあるのは、やはり国民の「信頼」にあるように思われます。デンマークでの国政等選挙の投票率は、現在も 80% を超えるそうです。かつては 90% を超えるのが当たり前。それだけ政治や行政を「信頼」している現れです。日本国大使館でのお話では、デンマークでは、国民一人ひとりが社会のことを自分事として考える、知的水準が高く政治はイデオロギー的にならない、国の将来を決めるような政策には数ある政党が合意して前に進めるなど、日本の政治に必要とされる要素満載といったところです。北欧の国には「ヤンテの掟」に忠実な歴史があるそうです。ヤンテとは古い小説に登場する北欧の架空の村です。その村の掟にはこうあって「自分を特別な人間と思うな。自分を相手より優秀だと思うな」。まさに北欧の平等であるべき社会が浮かび上がってくるようです。

ウェルビーイング先進国デンマークを語る上で見逃せないのが、デンマークの多様な教育制度だと考えます。社会福祉国家を継続維持していく国民の教育です。日本の小学校、中学校に当たる 9 年間は試験がありません。最後に一度あるそうですが、競争原理の教育を否定し、自由、平等、共生、連帯を実践として教えられ、そこで民主主義、主権在民を身につけるそうです。学校には部活動に相当するものはなく、放課後は校舎を一般市民のクラブ活動に解放し、生徒も自由に参加できます。基本的なこと以外は、好きなことを勉強させるということですが、自由には必ず責任がついてくることをしっかり教えられます。高等学校へ進学する生徒は約 45%、職業別専門学校へ進学する生徒は約 50% と、勉強したくない子どもは無理に高等学校へ進学しません。社会で必要とされる人間の基準は「学歴」ではなく「個性」「人間力」ということでしょう。職業別専門学校には、すべての職業についての専門科目があり、やりたいことがやれる、また就きたい職業に向けてやり直しが容易です。得意分野、個性を生かし勉強と職業がリンクする理想的なカタチが見えてきます。

ギャップイヤーの取得については、デンマーク場合、大学入学前だけに限らず、どの段階でも取得が可能で、自分を見つめ直す時間が与えられます。このような若者の心の揺れに寛大な対応は就職後も続き、転職の容易さ、充実した失業手当、豊富な職業訓練機会など、柔軟かつ安心なデンマーク雇用モデルができあがっています。若者に対し社会が寛大であり、若者に生き辛さのない未来が拓けているように思います。安岡先生はデンマークが幸福な理由は、多様な教育制度や柔軟な労働市場があると示唆されていたように思いました。

他者との違いを認めながらも、他者に対して干渉しない、自分と他者を比較しない。デンマークに移住された日本人現地アシスタントの言葉がストンと心に落ちました。「他人と比べているうちは、幸せにはなれませんよ」と。

最後に、今回の視察を受け入れていただいた安岡先生には勿論のこと、様々な施設に案内し、デンマーク在住の方々との懇談会を企画運営してくれた安岡先生が主宰する北欧研究所で学ぶ日本人留学生お二人の献身的なご協力に対し、心から感謝申し上げます。

企画財務部会 海外政務活動

報告書（各自の所感）

瀧田 孝吉

海外先進地視察（デンマーク コペンハーゲン）を終えての所感

瀧田孝吉

今回、デジタル化推進によるスマートシティや充実した福祉国家体制による国民幸福度等を中心に現地視察を行った。視察先に選定したデンマークは人口587万人で本土面積は九州とほぼ同じであるが、国民一人当たりGDPは日本の2倍となっている。経済は安定している中で再生可能エネルギーの分野においても先進地である。エネルギーの約8割を再生エネルギーでまかない内、6割が風力発電である。

デジタル化については福祉国家としての将来設計を進める中で1968年に日本のマイナンバーに相当する CPR ナンバーを全国民に付与してデジタル制度の基盤としその後、オンライン本人認証による公共・民間サービスの普及や行政手続きのデジタル化等を計画的に進めてきたが、このことは国民と中央政府との間に確かな信頼関係が成立していることが大前提であり、またこの信頼関係は経済成長、産業拡大、スピーディーな政策展開にも大きく影響していると考えられる。国民同士の信頼関係が構築されていることは選挙での80%を超える高い投票率にも表れており、さらに汚職は皆無であることも日本とは違う点だと感じた。税金等の国民負担率が高いことには医療や教育等の幅広い範囲で国民が利益を享受しているという意識が浸透し高福祉・高負担国家への理解を得られている結果であり、もしも今後さらに税金を上げたとしても様々な社会整備が進むのであれば、ほとんどの国民が理解するという実態も信頼関係が構築されている証拠だと感じた。

教育に関しては、シュタイナー幼児教育理念によって人間は7年周期で成長するという考え方に基づき、幼少期から思想実践教育が行われていることが特徴的であり、その中でデンマークの義務教育は、0~9年生までの10年間となっている。また教育にかかる費用は基本的に無料で学費はかからず、給付型奨学金がある。親は学費を負担することはなく、さらに在学中の住居や生活費にも政府の補助があることには驚いた。デンマークでは幼稚園から小学校、中学から高校、高校から大学と次のステージに上がる時期が一律ではなく、個々の発達や意思に合わせて進級する仕組みがあるので同じ学年の中に2歳くらい差がある子どもも達がいる。そんな教育環境の中でデンマークの子ども達は自己肯定感を高めながら成長しギャップイヤーも有効活用しつつ将来設計を立てる。そして多くの若者は20代後半で社会に出てから平均で6回転職するが、無職の期間は短く

「あなたが人と同様に有能だと思っはならない」、「あなたが人より賢いと思っはならない」等の『ヤンテの掟』という国民意識の中でそれぞれが目指す人生の豊かなゴールに向かって歩みを進めていく。自立した感性豊かな人格を育てるといふ点において、日本では基礎的自治体単位でこのような取り組みを導入している地域があり、今後さらなる拡充に向けて支援していく必要性を感じた。

医療も教育費同様に無料で受けることができるが、命にかかわる事故や病気に遭った患者は優先的にケアされるが、命を落とす心配のない患者は長く待たされた上に大した処置もないことも多く、かかりつけ医の受診にも2週間程度時間がかかることなどから医療アクセスは日本と比べ物にならないほど悪い。近年は遠隔治療へのシフトが進んでいるとのことだが、病院は多くのデンマーク人にとってよほどのことがないと行かない場所である。こういう国民の感覚は、医療財政面の観点ではかなり好都合ではないかと思う。日本で課題となっているコンビニ受診や医療費高騰への対策には、ある意味で病気や病院に対する根本的な考え方の転換が必要ではないかと感じた。

現地に赴いての先進地視察では、直接、見て聞いて触れながらまさに先進事例を体感することで、座学やオンラインとは違ったメリットがある。特に観光面では現地を訪れている旅行者の様子をつぶさに観察することで、今後の富山県におけるインバウンド施策のヒントを得た。例えば私の地元にある「日本のベニス」といわれる内川でも観光船による運河クルーズを行っているがイヤホンによる多国籍翻訳ガイドは有効だと実感したし、風情ある橋の下では極力運航速度を下げ、あえて壁すれすれを通過して旅行者に地域の歴史を肌で楽しんでもらうという仕掛けもアクセントになることを学んだ。また、今回の先進地視察の大きなテーマであったデジタル国家政策においては、デンマークでさえ3段階（デジタル処理→デジタル化→デジタルトランスフォーメーション）のうちのデジタル化によやく到達したとの認識だということ踏まえれば、日本においては働き方改革に伴い、電子化は効率化だという観点や今後さらに重要視されるダイバーシティ社会構築のためにも、より一層のスピード感を持ってデジタル技術の推進に対して住民意識醸成と共に強力に進めていかなければならず、その中で自分自身、情熱と勇気と覚悟を持って議員活動、議会活動に取り組んでいきたいと感じた。